

- 未来を描く・みと・市民討議会 -

開催報告書

令和4年12月27日

未来を描く・みと・市民討議会実行委員会

はじめに

「市民討議会」は、普段声を上げる機会の少ない市民の方に、参加する機会を提供し、世代や職業を超えて集い、自分の地域の未来について話し合い、その声を行政に届けることを目的としており、住民基本台帳より無作為に抽出した市民に対し参加を募り、これからのまちづくりに関するテーマについて、自由に論議を重ね、その意見や提言等を行政運営に反映させていく市民参加手法の一つです。ドイツで行われている「プレーヌクスツェレ」という市民参加手法を日本版にアレンジした「市民討議会」は、行政に対する消極層の『声なき声』を聞くことができる手法として、各自治体においても積極的に取り入れられています。

10年前の2012年、「第6次総合計画」の策定にあたり、水戸市と社団法人水戸青年会議所（現：公益社団法人水戸青年会議所）が共同で「水戸未来市民討議会」を開催しました。それから10年経った今年、「第7次総合計画」の策定に向け、令和4年10月17日に協定を締結し、同年12月3日、4日に「未来を描く・みと・市民討議会」を開催いたしました。

このたび、「未来を描く・みと・市民討議会」の結果として、参加された市民の皆様による幅広い意見交換を通じて出されました提案について、報告書としてまとめたものを市民の皆様を代表し、水戸市長 高橋靖 様にご提出いたします。

ぜひ、お役立ていただきますようお願いいたします。

最後になりますが、「未来を描く・みと・市民討議会」にご参加いただきました市民の皆様に深く感謝申し上げます。

未来を描く・みと・市民討議会実行委員会
実行委員長 石渡 淳

目次

はじめに

1. 未来を描く・みと・市民討議会の概要
2. 第1 討議テーマの討議概要
3. 第2 討議テーマの討議概要
4. 提案内容(投票上位の取り組み)
5. 提案内容をよりよくするために
6. 未来を描く・みと・市民討議会の検証

【参考資料】

- ・当日参加者配布資料
- ・概要書
- ・参加者アンケート
- ・未来を描く・みと・市民討議会の開催に関する協定書
- ・未来を描く・みと・市民討議会実行委員会規約
- ・応募ハガキ、封筒

1. 未来を描く・みと・市民討議会の概要

(1) 事業目的

「未来を描く・みと・市民討議会」は、住民基本台帳から無作為に抽出した市民の皆様に参加をお願いし、まちづくりに関するテーマについて、自由に提案や意見交換を行っていただくもので、その意見・提言等を水戸市において現在策定中の「水戸市第7次総合計画」に反映させるなど、よりよい水戸のまちづくりに活かしていくことを目的として開催しました。

(2) 市民討議会の特徴

① 無作為による参加者の抽出 市民討議会では、住民基本台帳から無作為に抽出した市民の方に案内状を発送し、参加を募ります。無作為抽出にすることにより、団体の役職者や行政運営への参加の積極層ばかりでなく、消極層や関心の薄い層が行政運営に参加する動機付けを行い、幅広い層の市民参加が期待できます。

② 情報提供

討議する前に、専門家による情報提供を行うことにより、特別な準備や知識がなくても安心して参加することができます。

③ 討議と投票

少人数のグループに分かれて討議を行うため、活発な意見交換が期待できます。また、提案について投票を行うことにより、公平な結論を出すことができます。

(3) 事業主体

令和4年10月17日に水戸市と公益社団法人水戸青年会議所で市民討議会開催に関する協定を締結、協働で「未来を描く・みと・市民討議会実行委員会」を組織し、実施しました。

(4) 開催日時

1日目 令和4年12月3日(土) 午前10時～午後4時30分

2日目 令和4年12月4日(日) 午後1時～午後5時

(5) 会場

水戸市役所4階 中会議室1～3

(6) 参加者

男性11名 女性13名 計24名

※ 水戸市が住民基本台帳から無作為に抽出した満16歳～39歳の市民約2,000名の市民の皆様にご案内を発送し、参加を希望された方。

(7) 討議テーマ

① 全体テーマ

「若い世代の活力で、持続的に発展するまちにしよう」

② 個別テーマ

・第1討議テーマ

「子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～」

・第2討議テーマ

「魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～」

(8) 討議会の進め方

【1日目】

① 2つの討議テーマについて、1グループ4～5名で自由にアイデアを出し合い、意見交換を行いました。

② グループごとに各テーマについての意見を集約し発表しました。

③ 参加者各人が共感できる意見に投票を行い、上位のものを全体の意見としてまとめました。

・タイムスケジュール

時間	次第
9：30～10：00	参加者受付
10：00～10：30	あいさつ、討議会説明等
10：30～12：30	テーマ1について討議、発表、投票
12：30～13：40	昼休憩
13：40～15：40	テーマ2について討議、発表、投票
15：40～16：00	休憩
16：00～16：30	投票結果発表、閉会

【2日目】

④ 1日目の投票で上位となった意見について、実現に向けたアイデア等の意見交換を初日同様、グループごとに行いました。

・タイムスケジュール

時間	次第
12：30～13：00	参加者受付
13：00～13：10	あいさつ、討議会説明等
13：10～14：50	テーマ1について討議、発表、投票
14：50～14：55	休憩
14：55～16：35	テーマ2について討議、発表、投票
16：35～16：45	休憩
16：45～17：00	投票結果発表、閉会

【グループ討議の進め方】

テーマごとにグループ分けをした後、自己紹介を経て、発表者・書記を決定。他人の意見やアイデアを否定しないことを前提に、自由に意見交換を行い、最終的にグループの意見としてまとめた意見を発表しました。

2. 1日目第1討議テーマの討議概要

第1討議テーマについて、各グループの話し合いに使用したワークシート、提案概要及び投票結果を、次のとおり報告いたします。

【第1討議テーマ】

子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

(1) 討議内容と方法

① 討議内容

現在、子育てをしている方が子育てをしやすく、これから子育てをする方が、水戸で子どもを育てたいと思ってもらえるための子育て支援の取組みについて討議しました。

② 討議方法

グループごとにワークシートを活用しながら討議をし、子育て支援の取組みについて、3つに意見を集約した上でまとめ欄に記載後、発表を行いました。

③ 投票

発表後、参加者各人が共感できる意見に投票を行いました。

(2) 各グループの提案

ワークシートの見方

テーブル		メンバー名
討議テーマ		討議テーマ
		メンバーの自由意見
まとめ1		集約した意見+得票数
まとめ2		
まとめ3		
残したい意見		

A

テーブル

討議テーマ 子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

- ・課題 どのような子育ての支援制度があるか分からない→知る方法が少ない？情報発信量が少ない
対策 子育て専用SNSのような場所で情報集めが出来るようにする
- ・子どもがいる状況への慣れ→子どもがいてあたりまえ社会→すぐしやすい社会
- ・学費などの支援の増加 明石市のような例 予算との兼ね合いを考える必要がある
- ・子育てしている方の職場のサポート 気がねなく休める→代替性の確保→働きやすい職場
- ・若い世代の参加できる機会を増やす そのための意識、考え方の変化
- ・お金の問題 ハードオフ？ 選べる支援
- ・2年前に市外から転入した。窓口がいくつも分かれていて手続きが1日では終わらなかった。ワンストップ窓口をお願いしたいです。
- ・保育園、学童の申請が毎月必要なのが面倒。変更があったときだけ手続きをするようにしてほしい。
- ・就労証明書について 所得税をみれば働いている実体は把握できるのでは？
- ・子どもが産まれた家庭への支援→茨城水戸産の野菜など
- ・学校の全教室にエアコンを設置した話があった。新型コロナの感染対策。また花粉症や香害対策として空気清浄機 も取り入れてほしい。
- ・情報を自ら探そうという意識が少ない若者もいる。特に子育てのことを進んで調べようということは少ないと思う。

- ・情報（アクセス）を良くする
- ・生活の変化（子どもの入学・子どもの出産など）で情報が手に入るよう「情報誌が届くように」必要な情報が手に入りやすく

2

- ・選べる支援
- 「家庭ごとに支援の内容を選べるように」野菜・食料・育児アイテム・ウイルス対策

8

- ・親子で受診出来る
- ・子どもだけではなく両親も受診できる病院など
- ・子どもが病気（かぜ）にかかると、親もうつる可能性があるため一緒に受けられるように

9

- ・ウイルス・花粉所などの対策として学校に空気清浄機
- ・インフラ料金を安くする

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報（アクセス）を良くする ・生活の変化（子供の入学・子供の出産など）で情報が手に入るように「情報誌が届くように」必要な情報が手に入りやすく 	【提案概要】 支援制度など子育てに関わる情報を欲しい人が情報を取りやすくSNS等を利用した場での情報の発信受信ができるようにする。また、情報を自ら探そうという意識がない方に対しても情報誌などを活用して情報が届くようにする。	2
2	<ul style="list-style-type: none"> ・選べる支援 「家庭ごとに支援の内容を選べるように」野菜・食料・育児アイテム・ウイルス対策 	【提案概要】 野菜や食料、おむつなどの育児用品、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策用品などの中から、家庭ごとに支援してもらう内容を選ぶことができるようにする。	8
3	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で受診出来る ・子どもだけではなく両親も受診できる病院など ・子どもが病気（かぜ）にかかると、親もうつる可能性があるため一緒に受けられるように 	【提案概要】 子どもが病気になった場合、一番近くで生活している親にも移る可能性が大いにある。そのため、子どもと親と一緒に受診できる病院があったほうがいい。	9

B

テーブル

討議テーマ 子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

- ・周りの人が子育てしてる人に声をかけにくい… ・コミュニティをつくる 現代井戸話会議
- ・農家(補助します 野菜提供)⇔支援⇔企業(応援します つくって提供) 楽しく情報発信イベント
- ・ママさん同士の交流会 ・地域の高齢者が子どもを見てくれる ・近隣コミュニティで子育てができる環境作り ・寺子屋
- ・わんぱーく・みと はみんぐばーく・みとなどの施設を広める どうやって? ・学童保育の時間の延長
- ・送迎システムをコミュニティで作る ・保育園料(特に0～2歳)が高い ・送迎バス
- ・優先席に小さな子どもとその親が座れるようなものを作る ・送迎の調整 ・ママになる不安の解消。ママ状況の紹介
- ・共働きだとスケジュール調整難 ・子育てしてる人のために階段の安全保障や有路に段差のないようなアパートを作る
- ・子供会×老人会? 規模 ・町内会ネットワーク(マッチング) ・婚外子
- ・養育費 教育費が不安 お金の問題・つくる気になれない(不安)・1人の負担(母親)・働きながら→子育てのハードル高い
- ・子どもが2人以上いる家庭のランドセルか通学バッグを何%オフにする ・名字をかえたい
- ・今の選挙ではそもそも若者の勝ち目のない投票 1人1票はそもそも平等と言えるのか? 投票方法→まとめ方? 考え直した方が良いのではな
いか。
- ・保育園のサービス内容と保育料がモヤモヤ
- ・ミルクやおむつなどの無料配布(1か月に1回)
- ・所得による保育料の差
- ・子ども用品の提供

コミュニティ(不安解消の総合窓口)

6

支援(お金とモノ)

2

子育ての多様性に絶対はない

7

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	コミュニティ(不安解消の総合窓口)	【提案概要】 ママになる人の不安を解消できるように、同じ環境や経験者でのコミュニティを作り、不安解消の窓口を作る。	6
2	支援(お金とモノ)	【提案概要】 保育園料や子育てに掛かるお金やモノ(ミルクやおむつ、通学バッグなど)の支援があれば、子育ての負担が軽減する。	2
3	子育ての多様性に絶対はない	【提案概要】	7

D

テーブル

討議テーマ 子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

- ・乳児期への支援が少ない
- ・保育士の給料 UP!
- ・障がい者支援（受診）
- ・三世代型の交流
- ・みんなママたちも当事者を過ぎてしまう→忘れてしまう
- ・結婚しない選択肢
- ・助けてほしいという意思表示のある人しか助けてくれない
- ・金銭的支援物の支援 etc が欲しい
- ・保育士幼稚園教諭の給料
- ・保育士の人の負担→給料増
- ・行政の0～2才の子へのサービス 配慮
- ・登校班が少ない→3世代で交流を増やしたい
- ・子育てをみんなで手伝う
- ・障がい児育児には余裕がない
- ・妊娠時に発達障害について教えてほしい
- ・発達障害の子の医療
- ・障がい持つ・大人に抵抗する力
- ・子育て経験を仕事に!
- ・発達障害の理解度低い
- ・障がい児が行ける小児科!!
- ・周囲からの理解
- ・市の窓口の受け身申請型の悪
- ・核家族以外との交流→孤立を防ぐ
- ・ハッピーをシェアする
- ・行動範囲が狭い
- ・普通に病院に行く→難
- ・発達障がいへの理解がない
- ・障がいのある子が目立ってしまう
- ・独身者が結婚したいと思える
- ・公務員は忙しい
- ・歯医者は障がい福祉の病院も設置されている→小児科こそあってほしい
- ・あと回し「様子をみましょう」を禁句にしてほしい
- ・公務員の視点
- ・行政側が受け身
- ・仕事を増やすのは難しい…
- ・○才児検診にも行けない
- ・妊娠中から障害の理解を

障がい児も通える小児科を!!

10

0才（乳児期から）の支援を!!
子育て支援が支援じゃない!!

10

三世代交流（高齢者・独身者）を!!

7

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	障がい児も通える小児科を!!	【提案概要】 障がいを抱えている児童のいる親は普通に病院に連れていくことすらも難しい。 障がいに対する理解があり、目立たない小児科があるべき。	10
2	0才（乳児期から）の支援を!! 子育て支援が支援じゃない!!	【提案概要】 児童だけでなく0才～2才のような乳幼児に対しての配慮や支援も必要。	10
3	三世代交流（高齢者・独身者）を!!	【提案概要】 三世代での交流を増やすことで、地域で子育てを手伝え、少なくなっている登校班の役割等も補うことができ、孤立してしまうことも防げる。	7

E

テーブル

討議テーマ 子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

- ・結婚へのメリットを感じているか
- ・子どもがいてもいなくても過ごしやすい環境
- ・子どもが居ながら趣味とか楽しめる空間
- ・もっと楽に web 上で申請を一括で
- ・病気の時のパイプライン（コロナ、インフル）
- ・農業体験家族で
- ・安心して遊べる公園
- ・食事できる所の充実
- ・貸農地での農業体験
- ・行政から利用できるサービス 補助金の提案がくる
- ・色々な世代が交流できる機会を増やしてみても
- ・スポーツのふれ合いやすさ
- ・バスケ、マラソンのアピール
- ・出生申請単身赴任とかきびしい
- ・子どもに関する制度を分かりやすくまとめた本やサイトを作る
- ・水戸アプリの開発（子育て情報）
- ・市内限定の子育て相談ができる SNS
- ・市役所まで書類を出しに来なくていい
- ・保育所申請
- ・水戸駅北口のエレベーターがせまくてベビーカー入れない？
- ・都内へのアクセス（バス等の整備）
- ・子ども連れなら博物館 植物園の入場料無料
- ・高齢者による遊び教室
- ・電話じゃなくてメールで問合わせたい
- ・自動で通知
- ・自然の PR 偕楽園 袋田の滝 ひたちなか海浜公園
- ・同僚への負担を気にしなくてよい
- ・子育て時間休導入
- ・病気にかかった時の子供の医療費を安くする
- ・子供と遊ぶ千波湖散歩
- ・インセンティブを与える
- ・第2子以降の保育料を無料または半額にする
- ・高収入の人を呼びこめる
- ・保育所へのアクセス預り時間
- ・保育所の数足りてる？
- ・保育園の数とか入れない人とかいる
- ・子供が学校を休む時、親が会社を休まなくていいように子供を気軽に預けられるようにする

市役所申請書類の電子化 出生届、保育園等々。 改善策：電子申請対応可とする（一括で） DX可	12
働きやすい環境整備 子育て時間休の導入（現状無し。または使いづらい） 改善策：制度活用で企業側に所得のインセンティブを与える→企業側から活用を促しやすくする 企業との連携	11
自然とのふれ合い（偕楽園、千波公園 etc）のPR強化 現状：イベントの告知等があるが、告知に差がある 改善策：水戸市LINE（既存）で告知するようにする 水戸の魅力	3
医療体制の強化 保育園の数や、希望の通る / 通らない、近さ	

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	市役所申請書類の電子化 出生届、保育園等々。 改善策：電子申請対応可とする（一括で） DX可	【提案概要】 DX化。保育園の申請や出生届などの各種申請を市役所に行かずとも電子申請を一括でできるようにする。	12
2	働きやすい環境整備 子育て時間休の導入（現状無し。または使いづらい） 改善策：制度活用で企業側に所得のインセンティブを与える →企業側から活用を促しやすくする 企業との連携	【提案概要】 企業との連携。子育てのための時間休を導入する。すでに制度がある企業もあるが、使いづらいため、導入することでインセンティブなどを企業に与えることで活用を促すことができる。	11
3	自然とのふれ合い（偕楽園、千波公園 etc）のPR強化 現状：イベントの告知等があるが、告知に差がある 改善策：水戸市LINE（既存）で告知するようにする 水戸の魅力	【提案概要】 水戸の魅力。子供が安心して遊べる公園がないため、自然とふれ合うことができるスポットのPRを強化する。イベントの際などに告知も行っているが差があるため、現在運用している水戸市の公式LINEを使って告知をするようにする。	3

F

テーブル

討議テーマ 子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～

- ・制服など教育初期費用
- ・保育施設の充実→働きやすさの確保 女性が働ける環境
- ・制服（自由化）(廃止)
- ・経済的サポート
- ・出会いがない、子作りしたい、結婚したい
- ・Uターン
- ・親の経済支援 子どもも不安を感じる
- ・幼稚園の入園料
- ・低所得に対しての支援
- ・制度のまとめ及び簡略化された手順
- ・学校に関する事は無償化
- ・シングルにやさしい
- ・現在どんな制度があるか分からない。
- ・こんな制度受けられますみたいな情報があるといいと思う
- ・シングルに優しくしてほしい
- ・仕事休めない
- ・シングルマザー支援→申請ロードマップ 職員の姿勢

制服の自由化 or 廃止

4

制度のまとめ および 簡素化された手順（ロードマップ）

8

結婚支援（街コン開催）

4

街全体の開発→県庁所在地にしては道路や街並みがない印象

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	制服の自由化 or 廃止	【提案概要】 制服を自由にするか制服自体を廃止する。	4
2	制度のまとめ及び簡素化された手順（ロードマップ）	【提案概要】 現在どんな制度があり、自分が受けられる制度もわからないため、制度の一覧や制度を受けるまでの手順が簡素化されたロードマップのようなものがあるといい。	8
3	結婚支援（街コン開催）	【提案概要】 結婚も子作りもしたいが、出会いがないため街コンなどを開催して出会いを増やすことで結婚支援にも繋がる。	4

3. 1日目第2討議テーマの討議概要

第2討議テーマについて、各グループの話し合いに使用したワークシート、提案概要及び投票結果を、次のとおり報告いたします。

【第2討議テーマ】

魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～

(1) 討議内容と方法

① 討議内容

現在、水戸市で仕事を行っている方や、これから就職をする若い世代の方が水戸で仕事をしながらこの街に住み続けたいと思ってもらえるための魅力的な働く場とはどんな環境なのかについて討議しました。

② 討議方法

グループごとにワークシートを活用しながら討議をし、子育て支援の取り組みについて、3つに意見を集約した上でまとめ欄に記載後、発表を行いました。

③ 投票

発表後、参加者各人が共感できる意見に投票を行いました。

(2) 各グループの提案

ワークシートの見方

テーブル	
討議テーマ	討議テーマ
	メンバーの自由意見
まとめ1	集約した意見+得票数
まとめ2	
まとめ3	
残したい意見	

B

テーブル

討議テーマ 魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうために～

- ・水戸で働くところないことがある
- ・自分に向いてる職業を知れるきっかけを貰える義務化
- ・大学が茨城は少ない
- ・県内の進学校に帰ってきやすい制度
- ・意見を言いやすい職場
- ・長期的に働ける職場作り
- 住み続けるために安定した仕事が必要
- ・方向指針の明確化
- ・柔軟性重要
- ・戻ってもらう為の補助
- ・人を育てる環境（資格取得補助）
- ・マニュアル何をしたら良いか分からない時間をなくす
- ・子育て支援との連携
- 働きやすく子育てしやすい
- 両方成り立つように
- ・時間のバランス
- 移動
- 会社のキムム時間
- ・企業と一般のつながり薄い
- ・情報不足（先が見ない）
- 発信する場所
- ・安心できる情報の発信源+@の知見共有

茨城県出身の県外にいる学生への呼びかけ
帰ってきやすい制度の作成

8

人出不足への対策
人員の教育

6

子育て支援などとの連携
ワーク・ライフ・バランスの補助

3

自分に何の仕事が向いているか知る機会の作成

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	茨城県出身の県外にいる学生への呼びかけ 帰ってきやすい制度の作成	【提案概要】 一度県外に行ってしまった学生に対して、水戸で働くメリットや地元に戻ってきやすい制度があった方がよい。	8
2	人出不足への対策 人員の教育	【提案概要】 資格取得補助などで人の教育に力をいれつつ、人出不足が解消されれば、休暇も取れるようになる。	6
3	子育て支援などとの連携 ワーク・ライフ・バランスの補助	【提案概要】 働きやすさと子育てのしやすきのバランスを取るために、子育て支援との連携を行いながらワーク・ライフ・バランスの補助を行う。	3

C

テーブル

討議テーマ 魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうために～

- ・若者が遊べる場所を増やす。または今ある施設を遊べる場所にする
- ・ワークライフバランスの取れている企業を公表する
- ・有給休暇のフル取得ができる環境作り
- ・イベントの開催→利益増
- ・企業の理念を消費者に知ってもらう
- ・車を持っていない人でも移動しやすいように交通を発達させる
- ・市（行政）と企業の連携
- ・市から企業への政策
- ・パートの給料を上げて男女の賃金差を減らす
- ・職場に託児所を設置する補助金を作る
- ・遊ぶ場所がない
- ・従業員に対してストレスチェック 高い低いをオープンに
- ・働きやすい企業が分かるように→就職しやすい企業が分かる
- ・見える化 ex)HPならメリット、デメリット
- ・企業内に託児所の設置
- ・子育てと仕事の両立 一括化
- ・売り上げや利益がないと出来ない
- ・一度離職してしまった保育士の採用
- ・地域活動 NPO の活動に賃金
- ・副業可。

企業内に託児所の設置←市が支援する
保育士の資格を持った人を採用

18

大規模な地域イベントの開催→地域の経済循環 <例>音楽フェス

8

優良企業の認定を見える化（メリットデメリット）→補助金をつける

9

地域活動 NPO の活動に賃金。副業可。

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	企業内に託児所の設置←市が支援する 保育士の資格を持った人を採用	【提案概要】 行政が支援（補助金等）をし、各企業が事務所に託児所を設置。子育てと仕事の両立ができるようにする。そして、保育士の資格を持った方を採用すれば、労働内容の割に賃金の低い保育士への支援にも繋がる。	18
2	大規模な地域イベントの開催→地域の経済循環 <例>音楽フェス	【提案概要】 音楽フェスのような大規模な地域イベントを開催することで、若者が集まり地域の経済の利益増にも繋がる。	8
3	優良企業の認定を見える化（メリットデメリット）→補助金をつける	【提案概要】 優良企業を見える化することで、どの企業が働きやすいのか。就職しやすい企業が目に見えてわかるようになる。	9

D

テーブル

討議テーマ 魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうために～

- ・仕事に選びたくなる地域
- ・時短で働いてOKな環境
- ・急な休みでも寛容
- ・休んだら代替の人の補充
- ・柔軟な人材の育成
- ・定年後の先輩に相談できるような仕事相談マッチングアプリ
- ・休みが取りやすい
- ・周りに相談しやすい
- ・進学は県外
- ・法人税補助・用地整備
- ・経営者側と従業員側の両方にメリットある施策
- ・水戸限定の転職サイトとかつくる
- ・水戸を選ぶ理由
- ・自営業への支援
- ・水戸の地域性→内に閉じこもる
- ・新しいものを取り入れない→一発屋
- ・賃金を上げるケース
- ・企業誘致に注力
- ・駅が発展してない
- ・保育料のために働いている
- ・モデルケース→理想
- ・東京が遠い
- ・観光地が少ない
- ・0～3才の子の育児費
- ・バスが少ない
- ・カフェとか緑地がある働く場
- ・水戸一つくばのアクセス
- ・ラーメン文化をプッシュ
- ・就職はたまたま

水戸市の小・中・高 特別休暇→有給のように好きな日に休める
休みが取得しやすい

12

水戸の魅力アップ（無料タクシー）（交通）教育

7

賃金アップ（モデルケースを採用）

4

学校の教育システム

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	水戸市の小・中・高 特別休暇→有給のように好きな日に休める。休みが取得しやすい	【提案概要】 水戸市内の小学校、中学校、高等学校において企業の有給休暇のように好きな日に休める特別休暇のようなものがあつたらいい。	12
2	水戸の魅力アップ（無料タクシー）（交通）教育	【提案概要】 無料タクシーや交通などのインフラの整備、教育の充実での水戸の魅力アップにつなげる。	7
3	賃金アップ（モデルケースを採用）	【提案概要】 すでに成功しているモデルケースを採用して、賃金をアップさせる。	4

E

テーブル

討議テーマ 魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうために～

- ・子育てしやすい職場
- ・夏休みくれる
- ・キャリアアップできる
- ・多様な働き方を認めてくれる
- ・子どもの体調不良に対応
- ・上司が優しい
- ・リモートワークとりいれてくれる
- ・産休育休がとれる
- ・子どもの行事に出られる
- ・家庭へのサポート
- ・転職がしやすい
- ・働くときに周りに気がねなく休める職場
- ・育休助成金をカンタンに！
- ・男性が気軽に休める
- ・各種イベントの周知（ロッキン、マラソン）
- ・子育て対象者の数が多い会社に助成金
- ・食文化のアピール（農業大国）
- ・水戸のレジャースポット（仕事以外の魅力）
- ・DX化に助成金
- ・階段が急
- ・離職率低い会社に助成金出す
- ・子育て休暇（会社へのインセンティブ）
- ・子どもと一緒に働ける
- ・待機児童ゼロ
- ・助成金の存在を周知
- ・システムが複雑
- ・保育士を派遣する仕組み
- ・託児所併設に助成金
- ・簡略化する仕組み
- ・男性用車両も作る
- ・他の県のいい所を取り込んでいる
- ・失敗をしても誰も責めずにフォローし合う職場
- ・身内に何かがあった時にいつでも向かえる職場
- ・雰囲気がいい職場
- ・無理な残業をさせない

働きやすい会社づくりのために助成金（申請の簡略化）

10

水戸の魅力を PR

5

子どもと働ける職場（託児所 保育士）→設立の補助金

11

- ・男性用車両も作る
- ・他の県のいい所を取り込んでいる
- ・失敗をしても誰も責めずにフォローし合う職場
- ・身内に何かがあった時にいつでも向かえる職場
- ・雰囲気がいい職場
- ・無理な残業をさせない

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	働きやすい会社づくりのために助成金（申請の簡略化）	【提案概要】 ママになる人の不安を解消できるように、同じ環境や経験者でのコミュニティを作り、不安解消の窓口を作る。	10
2	水戸の魅力を PR	【提案概要】 保育園料や子育てに掛かるお金やモノ（ミルクやおむつ、通学バッグなど）の支援があれば、子育ての負担が軽減する。	5
3	子どもと働ける職場（託児所 保育士）→設立の補助金	【提案概要】 企業内に託児所を設置したり、保育士を雇ったりすることで、子どもと一緒に働きやすい職場になり、仕事と育児が両立しやすくなるので、そのために補助金などを出して、設立を推進していく。	11

F

テーブル

討議テーマ 魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうために～

- ・高卒でいい職場がない
- ・将来性のある会社がある
- ・人が多い職場が沢山ある
- ・場所を選ばない
- ・戻ってきたいと思える街がある
- ・企業のリモートワーク導入
- ・道路渋滞が多いリモートワークもっと推進ほしい
- ・コアタイム制
- ・繁忙期が分かりやすい
- ・休暇を取りやすい
- ・転職しやすい, 次を見つけるまでのつなぎの補助スキルを身につける手助け
- ・他業種と連携して人材が流動的に行き来できる仕組み
- ・福利厚生がいい
- ・仕事のやりがいと賃金がきちんと見合うようにしてほしい
- ・資格取得補助
- ・給料良い
- ・家賃全額補助
- ・新卒と技能
- ・そもそもどんな仕事があるか知ってる？

お金

2

要望

4

将来

5

- ・住みやすい=治安の良さ 暗がりが多い (水戸駅) タバコのポイ捨て
- ・サービス残業 NG の方針 市として強くアピールしてほしい

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	お金	【提案概要】 仕事のやりがい (内容) と賃金のバランスを同じにする。家賃を全額補助にした り賃金をアップさせる。	2
2	要望	【提案概要】 休暇が取りやすい。や転職をしやすいなど要望を聞いてくれるような企業。	4
3	将来	【提案概要】 将来性のある会社や仕事の情報を若者が知れるようにする。	5

4. 1日目の提案事業（投票上位の取り組み）

1日目に行われた討議において、投票の結果、上位になった取り組みを本討議会1日目の提案事業として、次の通り報告いたします。

（1）第1討議テーマ

「子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～」

■提案事業

①市役所申請書類のDX化（投票第1位）

得票数 12 票

【提案概要】

DX化。保育園の申請や出生届などの各種申請を市役所に行かずとも電子申請を一括でできるようにする。

②働きやすい環境整備（投票第2位）

得票数 11 票

【提案概要】

企業との連携。子育てのための時間休を導入する。すでに制度がある企業もあるが、使いづらいため、導入することでのインセンティブなどを企業に与えることで活用を促すことができる。

（2）第2討議テーマ

「魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～」

■提案事業

①企業内への託児所の設置（投票第1位）

得票数 18 票

【提案概要】

行政が支援（補助金等）をし、各企業が事務所内に託児所を設置。子育てと仕事の両立ができるようにする。そして、保育士の資格を持った方を採用すれば、労働内容の割に賃金の低い保育士への支援にも繋がる。

②水戸市の小・中・高 特別休暇→有給のように好きな日に休める（投票数第2位）

得票数 12 票

【提案概要】

水戸市内の小・中・高 特別休暇→有給のように好きな日に休める特別休暇のようなものがあつたらいい。

5. 提案事業をよりよくするために

討議会2日目は、提案事業をよりよい施策としていくために、効果を高めるための方策等について討議しました。第1討議テーマでは、得票数の多かった「市役所のDX化」と「安心して医療を受けられる環境」のうち1つを各グループで選んでいただき、第2討議テーマでは、「女性が働きやすい環境」について、討議を行いました。討議内容をまとめたものについて、次のとおり報告いたします。

(1) 討議内容と方法

①提案事業を実施するに当たって、よりよい施策としていくために、主に以下の視点から討議をしました。

ア 課題・問題点（実施する場合の障害）について

イ 実施手法について

ウ 実施による効果について

②討議方法

グループごとにワークシートを活用しながら討議をし、3つに意見を集約した上でまとめ欄に記載後、発表を行いました。

③投票

発表後、参加者各人が共感できる意見に投票を行いました。

(2) 各グループの提案

ワークシートの見方

テーブル		メンバー名
討議テーマ		討議テーマ
		メンバーの自由意見
まとめ1		集約した意見+得票数
まとめ2		
まとめ3		
残したい意見		

A

テーブル

討議テーマ 市役所の DX 化

- ・ペーパーレスにしよう。 ・ペーパーレス化したい。 ・スマホで使える。 ・テレビで使える。
- ・出張所などを増す。 ・端末がない人向けにイオンモールに機械置く。 ・若い世代が親しみやすい。
- ・耳・目が不自由な人向けの対策 ・データだと流出しない？ ・機械が苦手な方はどうする？
- ・DX されているものでも内容が難しい。 ・手軽にスマホ・パソコンで使えると便利。
- ・職員の情報共有と連携 ・本人にあった行政サービスの通知。 ・全体的にサービスが届くように通知
- ・登録内容の確認を素早く。 ・申請もれのお知らせ。 ・待ち時間を通知。 ・24 時間対応。
- ・一括化してほしい。 ・子育て中で役所まで行く時間がない。 ・印かんの必要なし。(廃止)

どこでも使える。

〈例〉 スマホ、タブレット、ショッピングモール等

7

いつも対応ができる。

〈例〉 申請もれの通知、待ち時間の通知

3

分かりやすさ

〈例〉 用語解説→分かりやすい言葉に変える 手軽にアプリのように（ポップに）

6

維持費は画面内広告にしまかなう。 修繕はバグを見つけるコンテストを毎年開催。

システム開設はコンペ。 システム名の名付権付与。

タブレットを使用してほしい。

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	どこでも使える。 〈例〉 スマホ、タブレット、ショッピングモール等	【提案概要】 スマホやタブレットだけでなく、使用ができない人のためにショッピングモール等にも設置をし、誰でもどこでも使えるようにする。	7
2	いつも対応ができる。 〈例〉 申請もれの通知、待ち時間の通知	【提案概要】 いつでも対応が出来るように申請漏れがあった際や、市役所での待ち時間を通知で教えてくれるようになる。	3
3	分かりやすさ 〈例〉 用語解説→分かりやすい言葉に変える 手軽にアプリのように（ポップに）	【提案概要】 普段聞きなれず、難しい専門用語が出てくる時があるため、その用語を解説してくれたり、分かりやすい言葉に変えてくれるアプリがあると便利。	6

B

テーブル

討議テーマ 安心して医療を受けられる環境

- ・世間の目の理解。
- ・風邪の窓口が障害のない子と同じ。
- ・発達障害専用の薬をもらえない。
- ・病院が受け入れ用かわからない。
- ・発達障害への理解。
- ・障害者専門の病院。
- ・自閉症に慣れた医師が少ない。
- ・障害者カードとかは無い。
- ・ヘルプマーク。
- ・オペレーション時間長い。
- ・機能的に待ちも短くする。(オペレーション設計)
- ・療育園の存在 (ダウン症・自閉症)
- ・他責やってほしい→自責やるからサポートして！
- ・自殺者を減らす。(うつ等の窓口)
- ・障害 (ネガティブ) を個性 (ポジティブ)、強みと捉える。(認知教育)

課題：世間が障害のことをネガティブにとらえる

対策：水戸市の担当者のレベルが低い (医療レベル) から改善して欲しい。
障害を知る機会の提供→困っている人がいることの周知 (行政) ポジティブな発信

17

課題：どこに相談してよいかわからない。

対策：LINE で相談できる運用
総合窓口 LINE

8

課題：経験を共有する場は微妙

対策：世間の目が改善されれば
自然と解決 (まとめ1が大事) コミュニティ

3

妊婦の間に発達障害を知るタイミングがほしい

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	課題：世間が障害のことをネガティブにとらえる 対策：水戸市の担当者のレベルが低い (医療レベル) から改善して欲しい。障害を知る機会の提供→困っている人がいることの周知 (行政) ポジティブな発信	【提案概要】 現在、世間が障害のことをネガティブに捉えているため、行政の担当者の知識レベルを上げたり、困っている人がいることを周知するなど、行政がポジティブな発言をする。	17
2	課題：どこに相談してよいかわからない。 対策：LINE で相談できる運用 総合窓口 LINE	【提案概要】 相談したいことがあっても、どこに相談していいかわからないため、LINEなどで簡単に相談ができるような総合窓口の役割を果たす LINE アカウントを作成する。	8
3	課題：経験を共有する場は微妙 対策：世間の目が改善されれば 自然と解決 (まとめ1が大事) コミュニティ	【提案概要】 経験を共有する場というのはあまり必要なく、世間からの目や知識、捉え方が変われば、自然と解決される。	3

C

テーブル

討議テーマ 市役所の DX 化 安心して医療を受けられる環境

- ・時間と場所を問わず申請したい。
- ・市役所が開いていない時間帯でも PC やスマホから申請できると便利。
- ・園や学校の入所手続きも電子化してほしい。
- ・保育園利用手続きを簡素化（電子化）
- ・水戸市の LINE メニューから電子手続きに直接アクセスしたい。
- ・情報発信の強化。
- ・条件指定して検索すればすぐわかる機能をアップデート。
- ・出生届を病院から直接役所と連携できないか。
- ・マイナンバーをより便利に利用できるように。
- ・オンライン予約して自家用車内で待機できるようにしたい。
- ・混雑状況を事前に把握できるように。
- ・待ち時間の減少、病院以外での待機を可能に。
- ・すみませんなくなる教育、社会（多様性）
- ・病院で障害など事情がある人だけを受付する日を作って市から補助金を出す。
- ・小児科の先生の給料を上げる。
- ・子育て応援ステッカー
- ・お店などでサービスを受けられたら身につけやすい。

ワンストップ窓口→マイナンバーを入力すれば一目でわかり手続きもそのページで完了
出生届も病院との連携で負担軽減

10

どの病院でもオンライン予約できて（混雑状況を随時チェックできる）
自家用車内でも待機できて、端末などで呼び出してもらえるシステム

16

「子育て応援してます」の意思表示ステッカーを作る。
（迷惑に思っていないことが伝わるように）
赤ちゃんが泣いていても気にしませんの気持ちを表明する。

12

電子機器の扱いに慣れていない高齢者でも簡単に電子申請できるようにしたい。
確定申告のように一対一で申請する側と受け取る側で話して受け取る側が電子機器を扱う。

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	ワンストップ窓口→マイナンバーを入力すれば一目でわかり 手続きもそのページで完了 出生届も病院との連携で負担軽減	【提案概要】 マイナンバーを入力するだけで、自分に関連する情報が一目で分かり、手続きもそのページから行えるようにする。出生届や保育園の入所届も、病院や保育園と連携を行うことで利用者の負担が軽減される。	10
2	どの病院でもオンライン予約できて（混雑状況を随時チェックできる） 自家用車内でも待機できて、端末などで呼び出してもらえるシステム	【提案概要】 現在、一部の病院ではオンライン予約に対応しているが、それがどの病院でも出来るようになり、混雑状況を随時確認できるので、自家用車内でも待機していただけるような仕組みづくり。	16
3	「子育て応援してます」の意思表示ステッカーを作る。 （迷惑に思っていないことが伝わるように） 赤ちゃんが泣いていても気にしませんの気持ちを表明する。	【提案概要】 こちらは迷惑に思っていないでも、目線を向けたりしてしまうことで、迷惑だと思ってると思わせてしまうことがあるため、「子育てを応援している」ということが分かるような意思表示ステッカー等を作る。	12

D

テーブル

討議テーマ 市役所の DX 化

- ・並ばないと投票できない。 ・引っ越しの手続きで市役所に来ないといけない。 ・手続きは24時間対応してほしい。
- ・WEBで自分の好きな時間に説明してほしい。 ・解放学校申込 ・保育園入園 ・出生届 ・予防接種
- ・検診の間診票 ・各種申請の簡略化(住所、名前の自動入力とか) ・マイナポータルのやりやすいシステム化。
- ・マイナンバーもっと活用して! ・つくば市をロールモデルに。 ・本人確認(書類の電子化)
- ・働きながらだと申請に行く時間がない。 ・出書きの必要性。 ・ウィズコロナの生活様式に合っている。
- ・24時間対応。 ・同じ事を何枚も書かなくてよい。 ・受け入れられない世代 有 ・新しいシステムを手取り足取り教えてくれる人が必要。
- ・シンプルなわかりやすいシステム。 ・人に聞きにくい ・紙だったら窓口で書いてもらえる。 ・紙だとチェックがしっかりとってる。

討議テーマ 安心して医療を受けられる環境

- ・手続きをしてから待合室で長時間待たないといけない。 ・患者を受け入れてくれる病院を紹介してくれる窓口がない。(知られてない)
- ・障害検査を定期受診させる。 ・親でも救急車を呼ぶか迷ってしまう。 ・医療相談窓口のレベル向上できれば
- ・窓口は24時間だが受診は24時間やっていない。 ・病院を紹介してもらっても移動に2時間かかる。
- ・病院に当直はいるけど、普通には夜間は診てくれない。 ・カルテの共有化。 ・情報の統合→健康保険書、マイナンバー

子育て関係 DX 申請の充実

既存の電子申請手続きの簡易化(つくば市参照)

7

医療相談窓口のレベル向上

9

かかりつけ医制度(ドイツ・フランス・アメリカ・英国)

1家族につき、かかりつけ医を指定する(居る状態)

訪問ドクターの設定 オンライン診療

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	子育て関係 DX 申請の充実 既存の電子申請手続きの簡易化(つくば市参照)	【提案概要】 子育てに関わる申請を DX 化し、つくば市の取り組みを参考に既存の電子申請手続きを簡易化させる。	7
2	医療相談窓口のレベル向上	【提案概要】	9
3			

E

テーブル

討議テーマ 市役所の DX 化

- ・ 証明書を書面で提出しなくてよいといい。 ・ 市役所に足を運ぶ必要がある。 ・ 市役所に行かなくてすむ。
- ・ 家にいても申請ができるように。 ・ HP で調べたらそこから申請まで進む。
- ・ 申請のスキームがわかりにくい。 ・ 申請できるのか要件を満たすか分からない。
- ・ 申請方法がわかりにくい。 ・ 自分が受けられる制度がわからない。 ・ 手順の明確化。
- ・ 毎年出す申請書は変更点だけ直すようにしてほしい。 ・ 年末調整などマイナンバーで全部すんでほしい。
- ・ もともとあるデータの修正にする。 ・ DX 化の問題 password を忘れてしまう？（コンプライアンス問題）
- ・ 申請がより複雑化しないか？ ・ 人出が少ない。 ・ 時間がかかる。（人が多いため順番待ちする）
- ・ 申請に行くタイミングが限られる（平日のみ） ・ 予防接種の電子申請による予約。 ・ スマホ目安箱 意見を吸い上げてくれる。
- ・ 地域イベントを LINE で教えてほしい。 ・ 電子申請に特化したデジタル窓口。
- ・ チャットボット、深い問いの時はチャットボット担当者がある。（AI） ・ 電話だけじゃなくて、ズームとかで相談。 ・ TVCM

チャットボットの設置
(市役所へのお悩み解決など)

7

おうち市役所
(電子で通知、電子で申請)

12

DX 化への弊害

2

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	チャットボットの設置 (市役所へのお悩み解決など)	【提案概要】 チャットボットのようなシステムが充実すれば、問い合わせや要望などが簡単にできるようになる。	7
2	おうち市役所 (電子で通知、電子で申請)	【提案概要】 更新時期などのお知らせが電子で届き、申請においても電子で行える「おうち市役所」のようなものが出来れば、市役所に足を運ぶ必要がなくなり、人出も少なく済む。	12
3	DX 化への弊害	【提案概要】 DX は便利だが、password を忘れてしまったり、申請がより複雑化する恐れもある。	2

(2) 第1 討議テーマ

①「市役所の DX 化」 ②「安心して医療を受けられる環境」

討議会において賛同の多かった提案とその提案をよりよくするための方法

提案事業
市役所の DX 化

投票順位	上記提案をよりよくしていくための方法	提案概要
1	おうち市役所 (得票数 12)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none">・申請を行う際、市役所まで足を運ぶ必要があるため、行く時間が限られてしまう。・市役所内の人出不足。・書類の作成を行う手間。・更新時期を忘れてしまう。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none">・更新時期等のお知らせが電子で通知が来て、その申請においても電子で行えるように、家にいながらできる「おうち市役所」というサービスを行う。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none">・市役所に足を運ぶ必要がなくなる・更新時期を忘れなくなる。・市役所職員の必要人員が少なくなる。
2	ワンストップ窓口 (得票数 10)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none">・申請に行く時間が限られる。・手続きの面倒さ。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none">・マイナンバーを入力すると自分の関連する情報が一目でわかる「ワンストップ窓口」を設置する。出生届や保育園の利用手続きも病院や保育園と連携することで可能にする。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none">・時間や場所を問わず各種申請が行えるようになる。・手続き手順をこれまでよりも簡素化でき、申請する側も受理する側も負担がなくなる。
3 (同率)	子育て関係 DX 申請の充実 (得票数 7)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none">・働きながらでは申請に行く時間がない。・人に聞きにくい。・転入届等で必ず市役所に行かなければならないが、引っ越してすぐは土地勘もなくわかりづらい。

		<p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に子育て関係の申請においては、つくば市が現在行っているような成功事例を積極的に取り入れてDX申請を充実させる。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX申請内容が充実すれば、自分の好きな時間で説明を聞いたり申請を行うことができ、同じ内容を何度も記入したり、書類を作成する手間がなくなる。
3 (同率)	(電子申請端末が) どこでも使える (得票数7)	<p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやタブレットだけでなく、使用ができない人のためにショッピングモール等にも設置をし、誰でもどこでも使えるようにする。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやタブレットの知識の差や、環境に左右されずに活用することが可能になる。
3 (同率)	チャットボットの設置 (得票数7)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所に足を運ぶ必要がある。 ・申請のスキームがわかりにくい。 ・自分自身がどんな申請をできるのか、その要件を満たしているのかわからない。 ・HPが見にくく、欲しい情報までなかなか到達しない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市役所HP内にチャットボットを設置し、聞きたいときにすぐ聞けるようにする。深い問いの際は担当者が対応する。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な情報など調べたいときに聞きたいときに情報を得ることができ、問い合わせ対応等の業務による負担も軽減される。
6	用語等を分かりやすくする (得票数6)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請や書類に普段聞きなれない用語が出てきて理解が難しい時がある。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい用語が出てきた際に、分かりやすい言葉への変換や用語を解説してくれるアプリの作成。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からない単語や用語が出てきたときに各々で調べることができれば、行政の申請=難しく手間というマイナスイメージも払しょくされ、問い合わせ対応等の業務による負担も軽減される。

7	<p>各種の通知を行う (得票数3)</p>	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新を忘れてしまったり、市役所に来て待ち時間が分からず時間が読めない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新時期、申請の漏れ、本人に合ったサービス、市役所での現在の待ち時間などを通知してくれるアプリの作成。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新時期や申請漏れを通知することで、更新忘れや書類の不備を防止することができ、また、市役所での待ち時間を通知してくれることで、会社を1日休むなどせず最低限の時間の確保で手続きを済ませることが出来る。
8	<p>D X化の弊害 (得票数2)</p>	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D X化は便利な側面がある一方で、パスワードを忘れてしまったり、内容によっては申請が従来の方法よりも複雑化する恐れがある。

提案事業

安心して医療を受けられる環境づくり

投票 順位	上記提案をよりよくしていくための方法	提案概要
1	行政からのポジティブな発信 (得票数 17)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世間が障害のことをネガティブに捉えている。 ・水戸市の担当者の（障害に関する知識の）レベルが低い。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者の障害に関しての勉強会の実施。 ・障害に関して知る機会の提供や困っていることがあることを行政がポジティブな内容で発信を行う。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の担当者や世間の障害に対しての捉え方がポジティブになることで、障害の有無に関わらず同じレベルのサービスや診療を受けられるようになる。
2	どの病院でもオンラインでの予約が可能 (得票数 16)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の病院ではすでにオンラインでの予約に対応しているが、まだまだ多くはない。対応していない病院では、体調が優れないため病院に行っているにも関わらず待ち時間が読めずに長々と待合室で待つことになったり、待合室にいて様々なリスクにも見舞われる。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院でのオンライン予約の推進 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院での待ち時間の減少や自家用車内で待機できることによる、長時間待つことによる疲労や負担、感染リスクの減少につながる。
3	「子育て応援してます」の意思表示ステッカーの作成 (得票数 12)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の赤ちゃんが泣いているときに、こちらはポジティブな気持ちで見ただのにも関わらず、親御さんは申し訳なさを感じてしまう。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑に思っていないことが伝わるような「子育て応援しています」の意思表示ができるステッカーを作成し配布する。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の目が気になり、子育てに対してネガティブな印象を持つてしまうことの改善や困っている親御さんをサポートする意思を表示することで、サポートを受けやすくなり、子育て中に感じる生活の中での苦勞や

		負担を軽減できる。
4	医療相談窓口のレベル向上 (得票数 9)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れてくれる病院を紹介してくれる窓口がなく、紹介してもらったとしても近くはないことがある。 ・窓口が24時間対応だとしても受診は24時間対応していない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療についての相談窓口のサービスを向上させる。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスが向上すれば、病院の利用が容易になる。
5	LINEで相談できる総合窓口 (得票数 8)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにか疑問があってもどこに相談していいかが分からない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや疑問を気軽に相談できるLINEなどでの総合窓口を作る。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや疑問を気軽に容易に相談できるようになる。
6	世間の目の改善 (得票数 3)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を共有する場があるが、そのような場は微妙であり効果がない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害に対しての行政からのポジティブな発信。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブな発信によって世間の目が改善されれば、自然と問題は解決される。

A

テーブル

討議テーマ 子どもがいる人が働きやすい環境

- ・子どもを連れて行ける
- ・子どももうれしいシステム
- ・保育児に保育士さん来てくれる
- ・午前中だけ、午後だけマッチング
- ・急な休みへの対応
- ・リモートワーク取り入れる
- ・子育て時間給
- ・家の派遣
- ・ベビーシッター
- ・人材派遣
- ・保育士、保育者のデータベース化（希望者）
- ・当日朝
- ・間に行政が入ったシステム
- ・水戸市の PR
- ・本社が水戸にないとだめ
- ・できない企業をもっと促進する
- ・急な休みの人手不足は？
- ・働き手とマッチングする
- ・ベビーシッターとチャイルドシッターとマッチング
- ・コンビニであずかる派遣、スポット保育
- ・パパも急な休みに対応できる

休める会社

5

子どもと一緒に働ける会社

9

保育士経験者のデータベース化

5

- ・現場を変更する権限を持つ人向けに説明会する
- ・取り組みに対する助成金

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	休める会社	【提案概要】 子どもの予定や体調によって、急に休みを取らなくてはいけないことがあるため、急な場合にも休みを取りやすかったり、子育てと仕事の両立ができるような子育て時間給を導入するなどをし、ママだけではなくパパも休める会社があるといい。	5
2	子どもと一緒に働ける会社	【提案概要】 会社に子どもを連れていけて、社内にベビーシッターがいたり、子どもと一緒に会社で仕事が出来れば、子育てと仕事の両立ができるようになる。	9
3	保育士経験者のデータベース化	【提案概要】 希望のあった保育士、また保育士経験者をデータベース化し、必要としている方とのマッチングを行うことができれば、急に預けなければならない時、午前だけ、午後だけなど預けたいときに預けることができる。	5

B

テーブル

討議テーマ 女性が働きやすい環境

- ・男性メイク義務化
- ・男女比が均等
- ・男性側から積極的に行動
- ・会社が男性に育休取られると困る
- ・男性の育休取得率低い
- ・育児表彰制、表彰項目増やす
- ・男性育休率の公表
- ・男女の幹部数の公表
- ・男性、女性の考え方の根底
- ・女性採用の補助金はハードル高い
- ・意識の変化
- ・ハラスメント意識の欠如（年配の方）
- ・高校生、大学生対象職場見学
- ・女性を下にみる
- ・男性と女性の能力の違いを生かせるように
- ・生理休暇の名前を変える
- ・特別休暇
- ・生理休暇を有給にプラスする
- ・育児関係の緊急休暇があってもいい
- ・妊娠期間中のしんどさ、妊娠時の時短
- ・時短で休むことで置いてけぼり
- ・どういった風に働いて欲しいが人事である
- ・いたるところにトイレがある
- ・女性（母）の負担を考慮できる環境
- ・就職がわかりにくい
- ・保育園入れるか問題
- ・育児休暇の体験談を公表
- ・家事の訓練講座の開催
- ・初めての子どもの時のガイダンス
- ・家事をやるための講座
- ・ガイダンス関係
- ・髪形の制度をなくす、メイクOK
- ・男性も育休を積極的に取得
- ・時間を言わないといけないのが面倒
- ・休職の申請が面倒
- ・病児保育が少ない
- ・療児保育
- ・期間申請休暇

課題：・女性特有の休暇の認知
・休暇普及する為の表彰制度、表彰項目増やす

7

課題：働きやすいって、、、？
そもそも会社の事がよくわからない
高校生対象職場見学会の実施（行政からの後押し）

8

課題：男性、女性の価値観の違い
男は外で働いて、女は家での考え方
身近な所から変える（男性向け家事のやり方講座）

4

年配の意識向上

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	課題：女性特有の休暇の認知 休暇普及する為の表彰制度、表彰項目増やす	【提案概要】 女性特有の理由で休むことが必要な時があるが、それがうまく認知されていない。そのため、表彰制度を取り入れたり、表彰する項目を増やすことで、休暇を普及させることができる。	7
2	課題：働きやすいって、、、？ そもそも会社の事がよくわからない 高校生対象職場見学会の実施（行政からの後押し）	【提案概要】 そもそも、「働きやすい」とは何なのか。会社の事がよくわからないため、行政からの後押しを得ながら、高校生を対象にした職場見学会を実施する。	8
3	課題：男性、女性の価値観の違い 男は外で働いて、女は家での考え方 身近な所から変える（男性向け家事のやり方講座）	【提案概要】 男性と女性の価値観は違く、男性は外で働いて、女性は家で家事をする。という昔の考え方が今も根付いているため、男性向けの家事のやり方講座を実施するなど、身近な所から変えていく。	4

討議テーマ 女性が働きやすい環境

- ・メリットがない
- ・老人ホームで完結
- ・1つの企業に1つの託児所は費用的に難しい、企業が共同して1つの託児所を作る
- ・男女の協力
- ・夫婦で取得できる休暇
- ・有休の日数を増やしてほしい
- ・男性でも育児休暇がとりやすいように
- ・時間休を導入
- ・土・日・祝休み
- ・働きたい時に働ける環境
- ・リモートワークの推進（すきな時間に仕事）
- ・内職業、家でできる仕事
- ・気軽に働ける場所ほしい
- ・お母さんタイムに合わせられる働き方
- ・自由
- ・欧米化
- ・インフルエンサーがいるといい

- ・休暇
- ・夫婦でとれる育児休暇
- ・もっと有休をとりやすく（時間休など）

8

- ・働く環境
- ・リモートワークの推進
- ・働きたい時に働ける環境

4

- ・託児所
- ・複数の企業が共同して1つの託児所を作る

9

- ・子ども手当でならぬ、子どもの親へお疲れ様手当
- ・意見を上げられる機会を作ってくれる（アンケートなど）

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇 ・夫婦でとれる育児休暇 ・もっと有休をとりやすく（時間休など） 	<p>【提案概要】</p> <p>夫婦と一緒に育児休暇が取れたり、時間で休みを取れるなど有給休暇がもっと取りやすくなれば、女性も働きやすくなる。</p>	8
2	<ul style="list-style-type: none"> ・働く環境 ・リモートワークの推進 ・働きたい時に働ける環境 	<p>【提案概要】</p> <p>リモートワークを推進したり、働きたいときに働ける環境であれば、働きやすい。</p>	4
3	<ul style="list-style-type: none"> ・託児所 ・複数の企業が共同して1つの託児所を作る 	<p>【提案概要】</p> <p>会社の中に託児所があったり、複数の企業が共同で1つの託児所を作って使えば、子どもがいる方も働きやすくなる。</p>	9

D

テーブル

討議テーマ 女性が働きやすい環境

- ・男女比同じくらい、アットホーム
- ・女性管理職の比率が高い
- ・上の立場につきにくい
- ・やりたい仕事を制限されない
- ・互いに気をつかえる職場
- ・机の上に子どもの写真がおける雰囲気
- ・制服を止める
- ・服装のルールが多い
- ・制服が固定されている（組み合わせ方）
- ・産休育休が気軽に取れる
- ・子どもを預けることができない
- ・仕事ができない
- ・強制的産休育休を男女同程度とれる
- ・会社に復帰しやすい
- ・シフトが短時間ごとに決められる
- ・時間の自由がきく
- ・子どもの予定にしばられることが多い
- ・時間休が取りやすい
- ・働く時間を決められる
- ・急な休みに対応してくれる職場（リモート）
- ・子ども誕生日休暇がもらえる
- ・トイレとは別にパウダールームがある
- ・人数に対するトイレの数
- ・トイレは男女別

男女ともに意見が言いやすい環境

<例>男女比率が同じ、女性の管理職比率を高める

8

家族休暇をつくる

<例>親しみやすいネーミング

12

十分なトイレの設置（個室を増やす）

<例>化粧室を別途つくる

2

結婚後も苗字を変えなくてよい

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	男女ともに意見が言いやすい環境 <例>男女比率が同じ、女性の管理職比率を高める	【提案概要】 職場内の男女比率が同じであったり、女性の管理職の比率を高めることで、男性も女性もともに意見を言いやすくなる。	8
2	家族休暇をつくる <例>親しみやすいネーミング	【提案概要】 育児休暇などは固い印象が出て休みを取りづらいため、家族のために休める「家族休暇」など、親しみやすく取りやすいようなネーミングの休暇にすれば、休暇が取りやすくなる。	12
3	十分なトイレの設置（個室を増やす） <例>化粧室を別途つくる	【提案概要】 トイレが男女別であったり、女性のトイレの数を増やす、トイレと化粧室を分ける	2

E

テーブル

討議テーマ 女性が働きやすい環境

- ・ 保育所の付加価値 ・ 子育ての手間軽減が必須
- ・ 信頼できる保育士がいる保育所に預けられる ・ 仕事と育児の両方に課題
- ・ 仕組みを作るには利益も必要 ・ 企業内保育施設の充実
- ・ 遠くても送迎をしてきて、親の希望した時間に預けられる保育所
- ・ 子どもが家に帰りたくないと言う ・ 先生と話す機会があり、親との信頼関係ができています
- ・ 信頼できる保育士がいる ・ 子どもが急に病気になっても、サポートしてくれる体制がある
- ・ 子どもが来た状態で家に帰す ・ 誰が責任を取るのか？（保育所内で）
- ・ 兄弟姉妹が同じ園に入れるようにする ・ 保育士が過小評価されている？
- ・ 女兒のトイレを男性保育士には任せられない ・ 老人ホームと保育所をダブルで作る
- ・ テレワークで夫が家にいる ・ 男性の育休取得に補助
- ・ 育児中でない人も休みやすい職場 ・ 地元保育との提携奨励金補助
- ・ 残業ゼロの文化をつくる ・ 子どもを気にせずに働きたい
- ・ 子どものペースに合わせずに働きたい ・ 余裕のある人材配置

- ・ 職業としての保育士が過小評価されている？
- ・ 資格制度？手当て？構造 change

30

- ・ 専門プロでないと信頼信用できない（つながりのない）日本社会
- ・ 地域社会での保育機能（コミュニティベース）信じる

2

- ・ 安心して子どもを預けられる保育所を利用できる

1

- ・ 男性保育士も必要？
- ・ 男性保育士と女性保育士で役割分担

【提案概要】

番号	方法	提案概要	得票数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業としての保育士が過小評価されている？ ・ 資格制度？手当て？構造 change 	【提案概要】 1人の子どもを育てることすら大変な中、保育士は大人数の子どもたちを預かり育てるという責任が重大であり、大変な仕事にもかかわらず、正当な評価をされていないので、資格の制度であったり、手当てを増やすなど、そもそもの構造を変える必要がある。	30
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門プロでないと信頼信用できない（つながりのない）日本社会 ・ 地域社会での保育機能（コミュニティベース）信じる 	【提案概要】 現在の日本社会はつながりがなくなってきており、専門家やプロでないと信頼信用が出来ず、子どもを預けることができないため、地域社会で保育機能やコミュニティベースを作って信じる事が出来れば良いと思う。	2
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して子どもを預けられる保育所を利用できる 	【提案概要】 安心して子どもを預けられるような保育所を利用することができるようになるとうい。	1

(3) 第2 討議テーマ

討議会において賛同の多かった提案とその提案をよりよくするための方法

提案事業
女性が働きやすい環境づくり

投票順位	上記提案をよりよくしていくための方法	提案概要
1	保育士の資格制度や手当などの構造 Change (得票数 30)	【課題・問題点】 ・ 1人の子どもを育てることすら大変な中、保育士は大人数の子どもたちを預かり育てるという責任は重大であり、大変な仕事にもかかわらず、正当な評価をされていない。 【実施手法】 ・ 資格の制度を見直す、手当を厚くするなどの構造を変える。 【実施による効果】 ・ 保育士の質やサービスの向上、求められている仕事内容に対して正当な対価を出すことで、預ける側の信頼度だけでなく、保育士としてのメリットも増える。
2	家族休暇をつくる (得票数 12)	【課題・問題点】 ・ 育児休暇などは固い印象が出て休みを取りづらい。 【実施手法】 ・ 「家族休暇」などフランクで親しみやすいネーミングをつける。 【実施による効果】 ・ 親しみやすいネーミングにすることで、積極的に休暇を取りやすい雰囲気づくりが期待できる。
3 (同率)	子どもと一緒に働ける会社 (得票数 9)	【課題・問題点】 ・ 子どもの予定に合わせて休みを取る必要がある。 【実施手法】 ・ 企業内保育を取り入れ、子どもと一緒に働ける職場環境を作る。 【実施による効果】 ・ 子どもと一緒に働ける環境があることで、親は子どもの予定に左右されずに仕事ができ、子どもも親と一緒に過ごすことができ、仕事と子育ての両立が可能となる。
3 (同率)	複数の企業が共同で託児所を作る (得票数 9)	【課題・問題点】 ・ 企業内託児所を導入したいが資金面で導入が難しい。 【実施手法】

		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の企業の共同出資で託児所を作る。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の企業の共同出資で託児所を作ることで、最小限の予算で託児所を作り、活用することができる。
5 (同率)	高校生対象の職場見学会の実施 (得票数8)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも若い人にとっては会社のことがよくわからず、「働きやすさ」とは何なのかもわからない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が企業の後押しをし、高校生を対象にした職場見学会を実施する。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから進路を決める高校生を対象に職場見学会を実施することで、地域の各企業の取り組みや良さを知ってもらえ、市内での就職率向上につながる。
5 (同率)	男女ともに意見が言いやすい環境づくり (得票数8)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性は男性に意見を言いづらく、男性も女性に意見が言いづらい。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内の男女比を同じにする。女性の管理職比率を高める。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女がともに意見を言いやすい環境になることで、女性だけでなく男性も働きやすい環境となる。
5 (同率)	もっと有給を取りやすくする (得票数8)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給が取りにくい。 ・男性は育児休暇を取りにくく、そのため女性に育児の負担がいきやすい。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夫婦で取れる育児休暇の採用 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夫婦で育児休暇を取れることで、女性だけでなく男性も育児休暇を取りやすくなり、夫婦で協力して育児を行うことが出来るようになる。
8 (同率)	男性向けの家事のやり方講座の開催 (得票数4)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性の価値観の違いによる負担。 ・男は外で働いて、女は家での考え方が根付いており、男性は育児や家事をしづらく、女性は仕事をしづらい。

		<p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性向けの家事のやり方講座の開催 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在根付いているマイナスな固定概念を身近なところから変えていくことで、男性は育児休暇などが取得しやすくなり、女性も仕事がしやすくなる。
8 (同率)	リモートワークの推進 (得票数4)	<p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークの推進 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークが推進されることで、働きたいときに働くことができるようになる。
10 (同率)	十分なトイレの設置 (得票数2)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレが男女兼用であったり、個数が少ないと皆が気を使ってしまう。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個室を増やす。男女別にする。トイレとは別に化粧室を設置する。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの設備が充実することで、男性が女性に、女性が男性に気を遣わずに済み、働きやすくなる。
10 (同率)	地域社会での保育機能を信じる (得票数2)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本社会はつながりがなくなってきており、専門家やプロでない信頼信用が出来ず、子どもを預けることができない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会での保育機能やコミュニティベースを作る。 <p>【実施による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会や近隣での保育機能やコミュニティベースが確立されると、信頼して子どもを預けることが容易にできるようになり、働きやすさにもつながる。
12	安心して子どもを預けられる保育所が利用できる (得票数1)	<p>【課題・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所を選ぶことがなかなかできない。 <p>【実施手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを預けられる保育所が利用できるようになる。

6. 未来を描く・みと・市民討議会の検証

市民討議会終了後に行われた参加者アンケート結果等を基に、市民討議会の検証を行いました。(アンケート結果については、章末に掲載)

(1) 参加者数について

「未来を描く・みと・市民討議会」を開催するにあたり、無作為に抽出した市民約 2,000 人にご案内を郵送し、結果として 24 人の方にご参加いただきました。活発な討議を行えましたが予定していた 50 人には至らなかったことから、より多くの市民の声を聞くためには、テーマの設定や開催日数、拘束時間の短縮を図る必要があると考えます。

(2) 参加者の年代・男女別参加者数及び構成比について

今回参加いただいた方の年代をみると比較的均等に参加しており、すべての世代が身近に感じれるテーマを設定したことがこの結果になっていると考えられ、テーマの選定と興味を持って参加する年齢層は密接に関係しており、そのつながりを意識してテーマ設定並びに参加者層の設定を行うことが大事だと考えます。

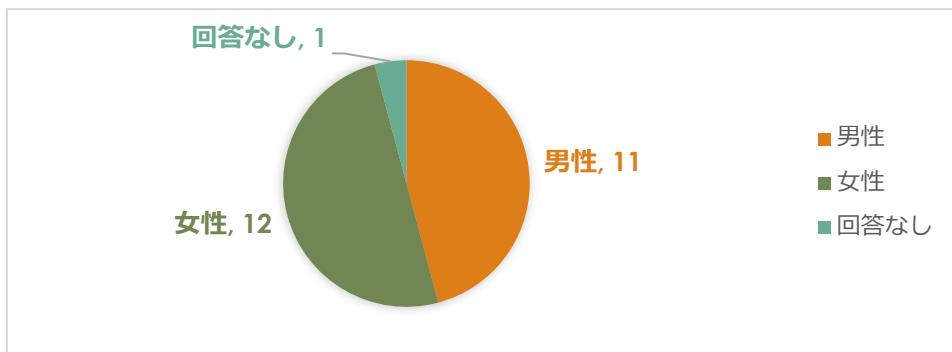
(3) テーマの設定について

子育てや働く環境など誰しものが必ず日々接しているテーマであり、アンケートを見ても半分以上が「適切だと思う」と回答がありました。しかし、半分近くの方は「幅広い」という回答でした。率直に感じている生の声を吸い上げるためにあえて幅広いテーマ設定を行いました。それによって具体的な案が出づらいつい部分があるという側面もあるため、そのバランスの取れるテーマ設定を行う必要があります。

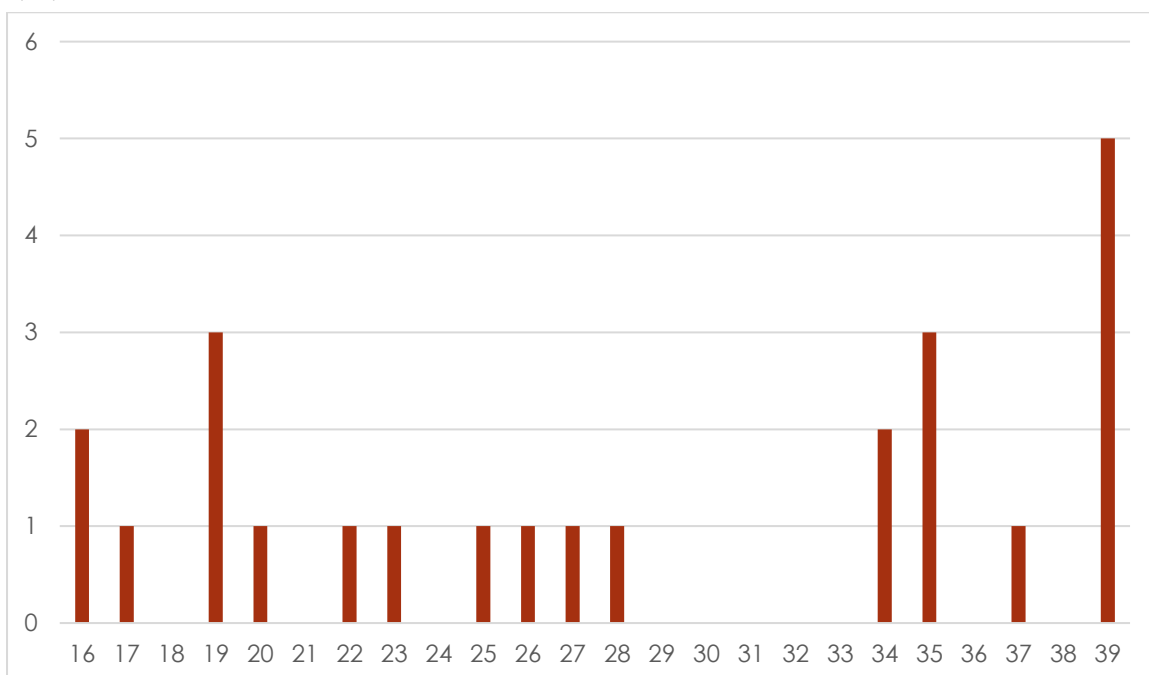
(4) 市政への反映について

今回提出した提案事業については、水戸市で策定を進めている水戸市第7次総合計画に反映させることを目的としており、報告書の提出後においても実行委員会として市政に生かされているかどうかの把握に努める必要があります。

性別

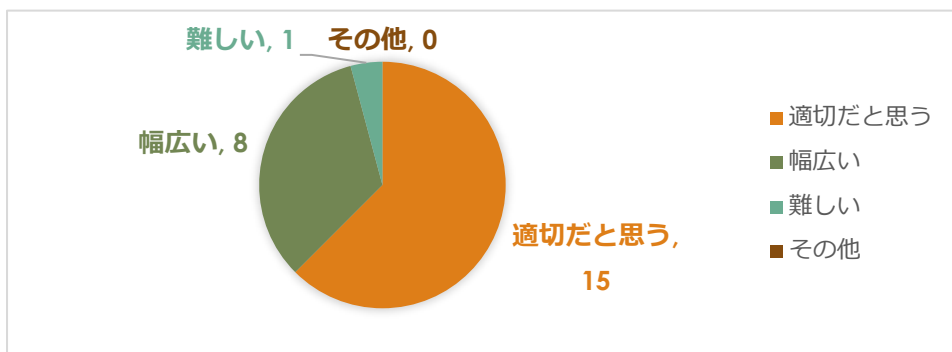


年齢



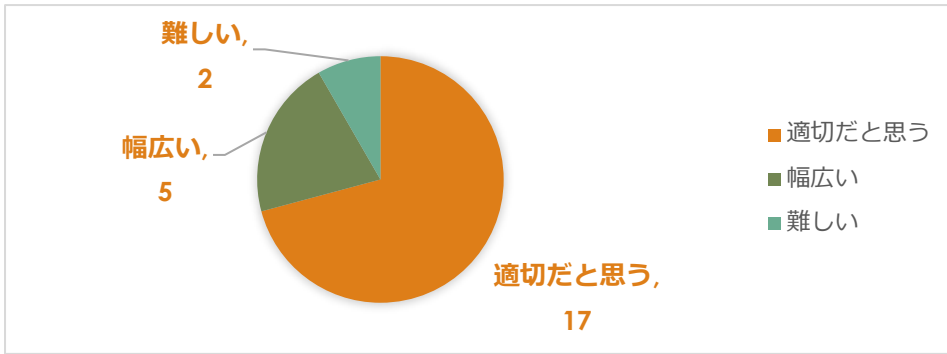
1-1 今回の市民討議会についてお伺いします。今回のテーマ設定はいかがでしたか？

①全体テーマ「若い世代の活力で、持続的に発展するまちにしよう」について



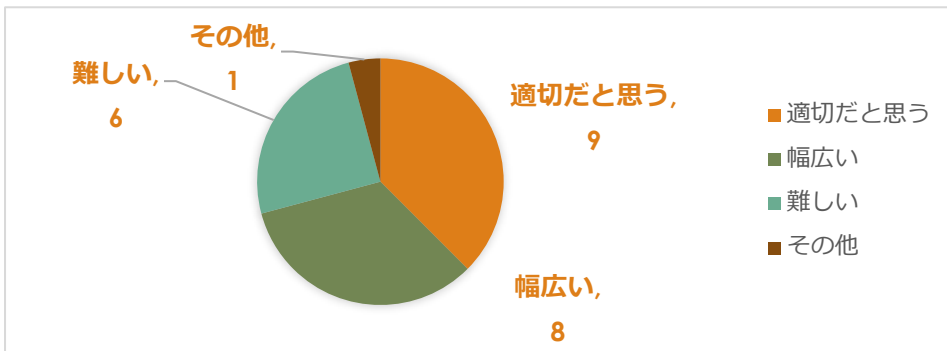
1-2 今回の市民討議会についてお伺いします。今回のテーマ設定はいかがでしたか？

②個別テーマ1「子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～」について



1-3 今回の市民討議会についてお伺いします。今回のテーマ設定はいかがでしたか？

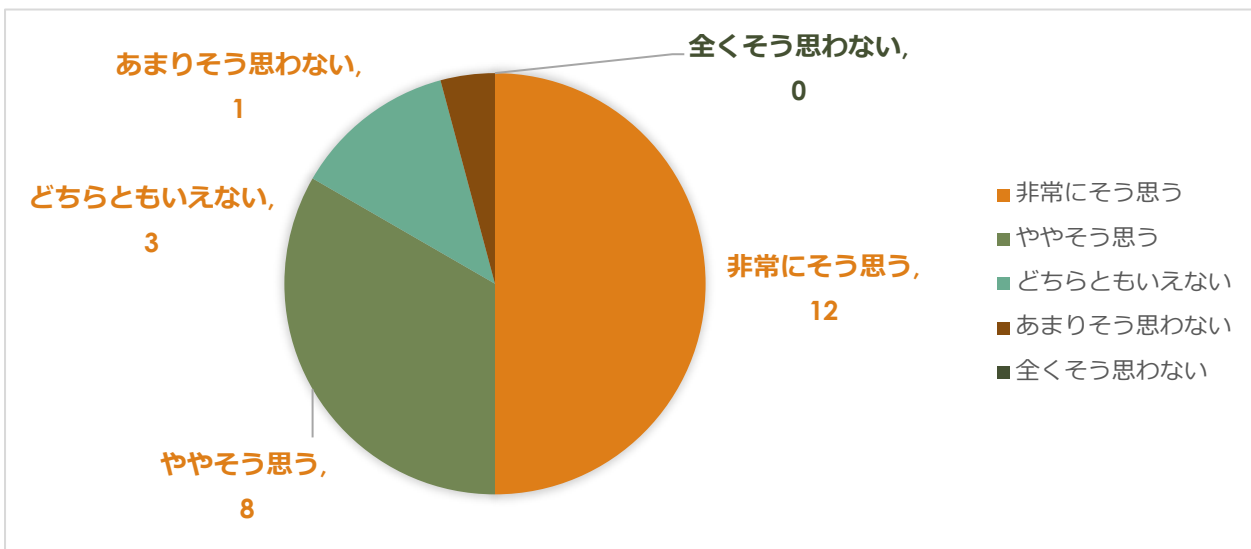
②個別テーマ2「魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～」について



その他回答

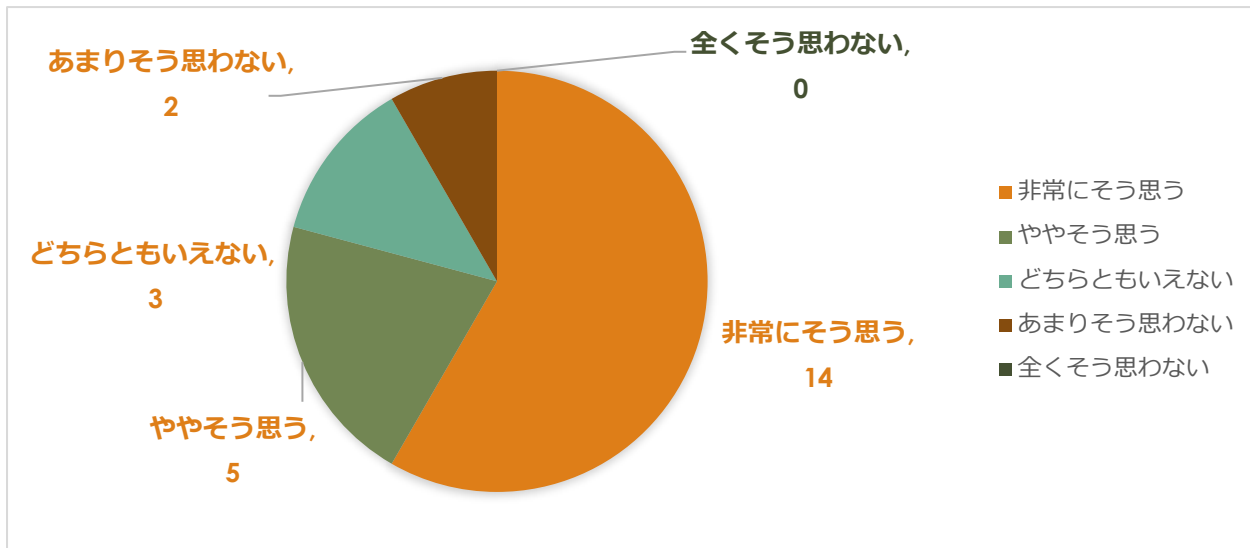
- ・そもそも水戸市は転勤族が多い為、ずっと住み続けにくいと感じました。

4. 参加者は、市民としての一般的な意見を反映していたと思いますか？



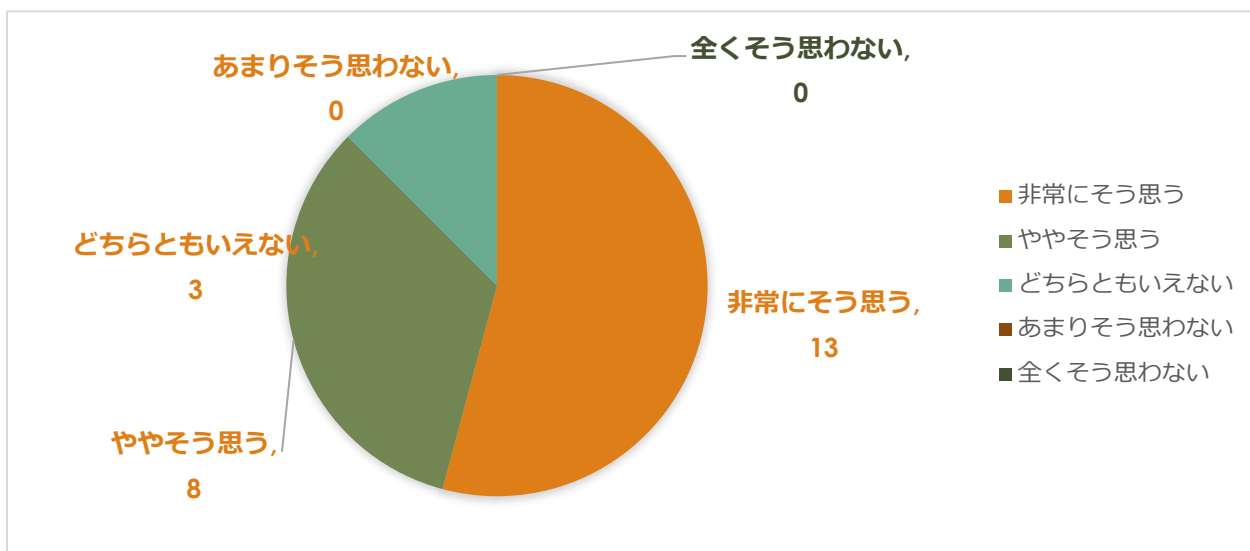
5. 市民討議会の投票結果は受け入れられるものでしたか？

①個別テーマ1「子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～」について

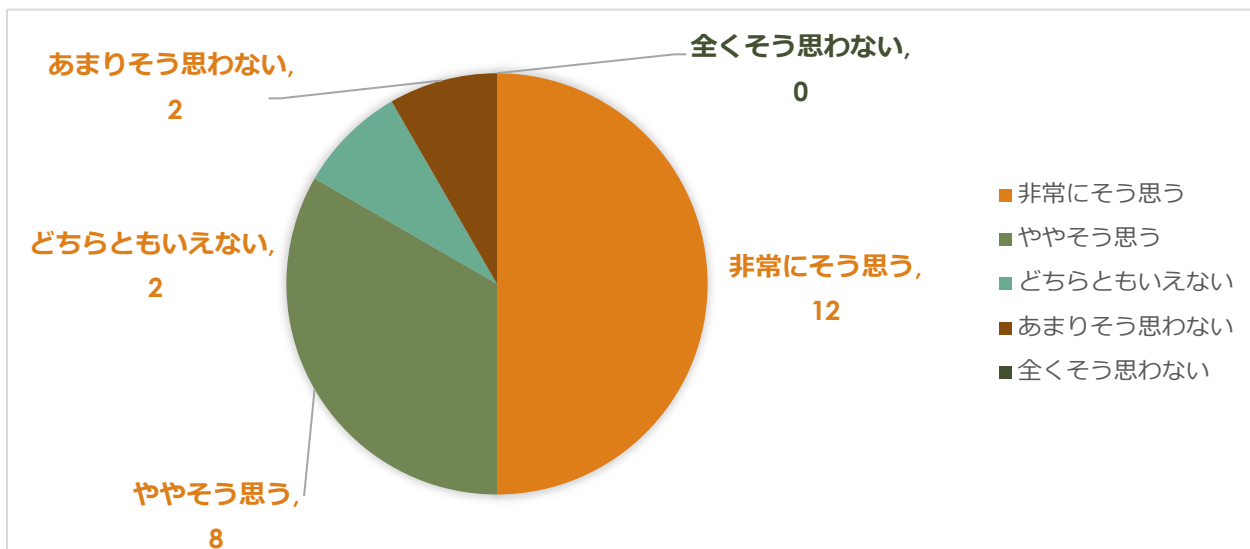


6. 市民討議会の投票結果は受け入れられるものでしたか？

②個別テーマ2「魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～」について



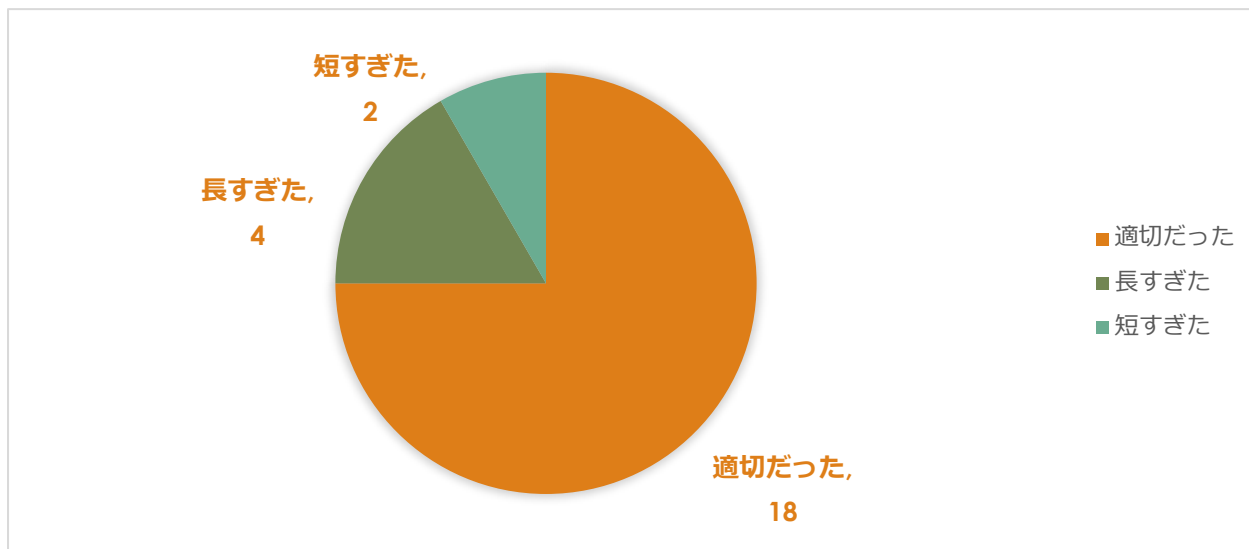
7. 市民討議会で見聞きしたことや参加しての感想を周囲の人に話したいと思いましたが？



記述欄外回答

- ・このような声を微力ながら意見を出せる場に参加していきたいです。(障がい児ママとしても)

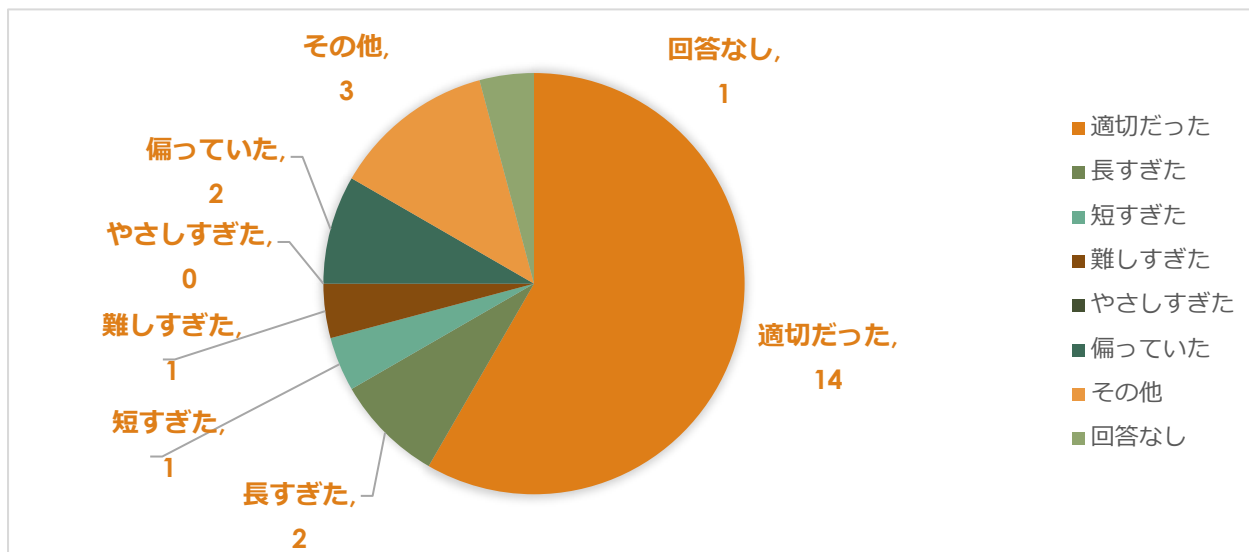
8. 市民討議会の時間はいかがでしたか？



記述欄外回答

- ・二日目の休憩時間が短い

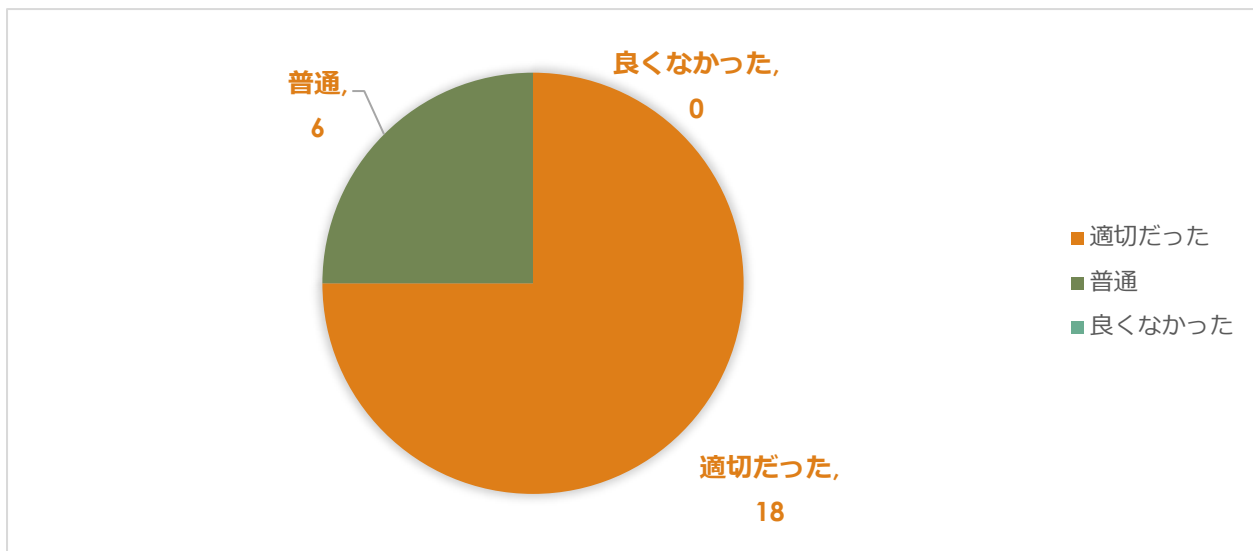
9. 情報提供はいかがでしたか？



その他回答

- ・1日目前半の状況提供がとても良かった
- ・もっと色々ほしかった
- ・水戸市の現状が少しあっても良かった

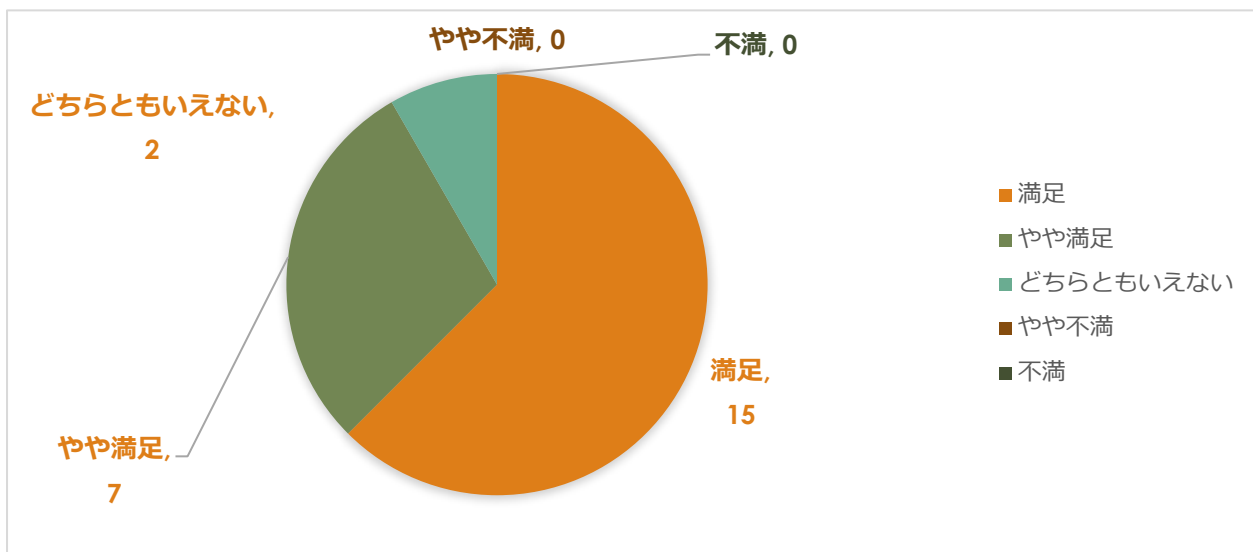
10. 運営面はいかがでしたか？



良くなかったと回答した人の記載した問題点

- ・ファシリテーターの方の雑談が少し気になる時があった。
- ・もっと市職員の生の声が聞きたかった。

11. 今回の市民討議会の話し合いに満足していますか？

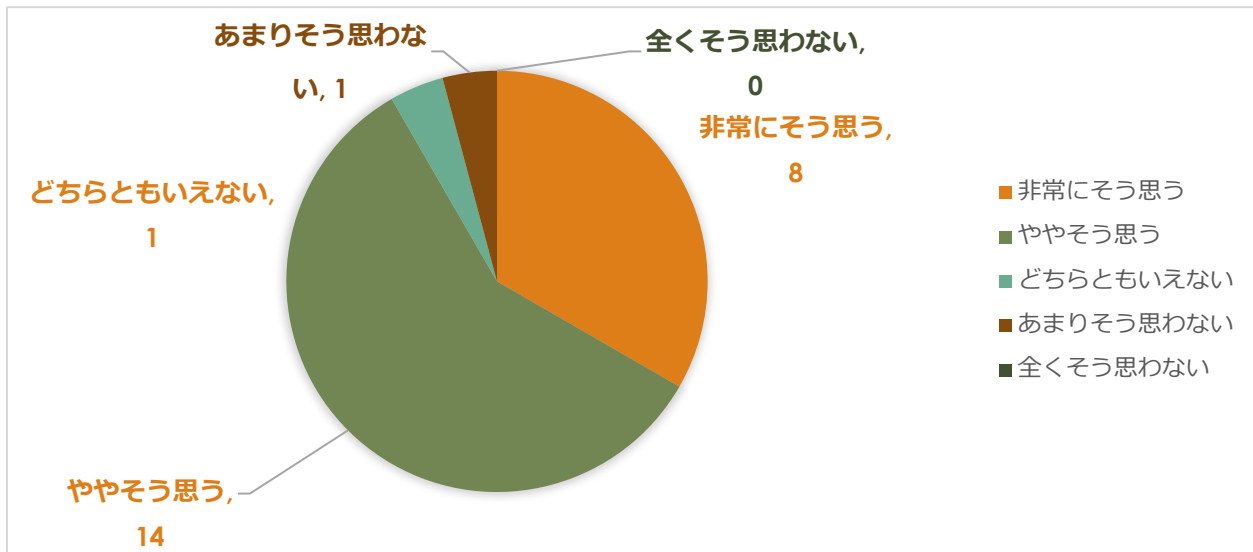


どのような点で満足でしたか

- ・普段は出会えない人と意見交換できて良かった。
- ・「若者」の具体的な年齢層があやふやで人選の偏りが目立つ。テーマによっては経験が伴う場合、該当者がいないとリアリティに欠ける。
- ・もっと具体的、水戸市ができる内容にしぼり易い議論がしたかった…。
- ・開催され、参加できたことに満足できた。
- ・多くの視点からの意見を知ることができた。
- ・若い世代含めたくさんの意見がきけた
- ・参加者が真剣に議論していて刺激的でした。
- ・もう少し話し合いのリードをして欲しい。
- ・普段、関わりの少ない職種、年れいの方たちと話すことができた。
- ・自分以外にも市民の生の声を聞く機会を得られたから良かった

- ・時間が十分に確保されており、安心して議論することができた。
- ・自分の日々の想いをお話できたから

12. 今回の市民討議会を通じて、自分の意識が変わったと思いますか？



13. その他、ご意見やご要望がありましたら、お聞かせください。

- ・このような機会を得られた貴重な時間を生の意見を実現できるよう水戸市の未来に期待しております。～青年会議所の皆様、政策企画課の皆様～ありがとうございました。
- ・非常に有意義な機会となりました。ありがとうございました。
- ・色々な立場の話が聞けて勉強になりました。
- ・ペルソナ設定をもっと具体的に提示してほしい。P. S. 山形で行われている「企業家育成プロジェクト」等、一定層ごとの長期的な活動を行ってみてはどうか。茨城は比較的経済、社会文化に特化している印象がある。「大学×年齢制限なしの社会人」で、もっと交流を増やしてみしてほしい。
- ・今後も定期的に開催してほしい。また参加したいです。
- ・障がい児を持つ親として、自分の想いを何か形にしたいとは、今まで思ったことは実際ありませんでした。なぜなら、聞いてくれる方はいないと思ったからです。当事者しかわからないであろうと思ってました。ですが、賛同して下さる方がいるのを実際目にして、発信して良かったと心から思います。感動しました。うれしいです。ありがとうございました。少しでも、上に声が届きますように・・・ぜひ、またこのような機会ありましたら参加したいです。40になります(笑)
- ・また参加できればと思いました。呼んでください。
- ・もう少し手当UPしたら、参加者も増えると思います。
- ・今回のような会に参加してくれる時点で、それなりに政治参加や市民参加への意識が高い人々が集まったのではないかと。その点では多少の偏りはあると思うので、他の案も十分に取り入れ、考えた後で市政に反映してほしい。また、市民がグチを職員にぶつけるだけになっている場面もあった。今後の課題だと思う。
- ・非常に良かった。
- ・仕立てを①問題提起→②解決案→③具体策のようにした方がわかりやすかった。個人(参加者)の問題や不平不満の吐け口のように偏りがでてしまった。
- ・大学通学などの交通費などの支援を行ってほしい。
- ・J Cの方が市のことをきかれていて大変そうだった。

・多様な方と意見交換はできたが、議論を煮つめるのが難しかった。2日目は、関心のあるテーマごとにグループになり、深い議論になるとよいのでは？とても有意義な2日間でした。理屈的には分かっているけど、色々な立場で色々な考え方の方がいるということを改めて認識させられました。ありがとうございました。

参 考 资 料

未来を描く・みと・市民討議会

－ 本日の予定 －

(1日目)

受付	9:30~10:00	参加者受付
趣旨説明	10:00~10:30	あいさつ、討議会説明等
テーマ1	10:30~12:30	話し合い、発表、投票
休憩	12:30~13:40	昼休憩
テーマ2	13:40~15:40	話し合い、発表、投票
休憩	15:40~16:00	
事後連絡等	16:00~16:20	投票結果発表、総括、閉会
写真撮影		

未来を描く・みと・市民討議会

－ 本日の予定 －

(2日目)

受付	12:30~13:00	参加者受付
趣旨説明	13:00~13:10	あいさつ、討議会説明等
テーマ1	13:10~14:50	話し合い、発表、投票
休憩	14:50~14:55	
テーマ2	14:55~16:35	話し合い、発表、投票
休憩	16:35~16:45	
事後連絡等	16:45~17:05	投票結果発表、総括、閉会
写真撮影		

市民討議会 の 特 徴

市民討議会は、普段声を上げる機会の少ない市民の方に参加するきっかけをつくりだし、世代や職業を越えて集い、まちづくりについて話し合いその声を行政に届け、市民が直接参加・参画する新しい形のしくみです。

ドイツで行われている「プラーヌクスツェレ」という市民参加方式がモデルとなっています。

1 討議参加者のグループ分け

討議参加者は約30名(欠員が出る場合があります)で、6グループを編成します。

②専門家による情報提供

討議の前にテーマに沿った様々な情報提供をさせていただきます。皆様にとってなじみのあるテーマであっても基本的な情報も含めた情報提供を受けることで具体的にかつ体系的に考えることが出来るようになります。

③討議参加者だけで討議・意見を集約

参加している方だけの小グループ(5~6名1組)で討議をしていただきます。事前の情報提供もありますので心配はいりません。

討議の進行についての質問にはスタッフが回答しますが、討議には参加はいたしません。合計で2回の討議がありますが、1テーマ毎にメンバーチェンジ(シャッフル)をしますので、様々な方々と偏りなく意見交換・討議が出来ます。

グループ討議の結果を模造紙(討議ボード)にまとめながら記入していただき、グループごとに発表します。各グループの発表を聞き、共感できる意見に対し投票を行います。

このようにして意見を抽出・集約して合意の形成をしていきます。

④討議結果「報告書」の提出・公表

討議の結果を整理・分析し、市民の皆様へ公表致します。また、報告書は水戸市へ提出されます。

⑤参加者の有償性

今回は、皆様の時間を割いてこの討議会に参加して頂くためにクオカードをご用意いたしました。

討議参加者へのお願い

討議参加者の皆様にとって討議しやすい環境をつくるため以下のことにご注意くださいよう、お願い申し上げます。

全 体

- 警備・安全保障の点から指定の場所以外に立ち入らないで下さい。
- 会場内は全て禁煙です。喫煙は所定の場所をお願いいたします。
- 貴重品の管理は各自の責任にてお願いします。

討 議 中

- 情報提供や討議中の携帯電話・メールのご利用はご遠慮下さい。
- 討議中のパソコンの使用や個人による録音・カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮下さい。
- 討議内容、特に他の討議参加者に関する個人情報等をブログ等で公表することはおやめください。個人のプライバシーを侵害することになります。
- 主催者側が討議風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
- 討議中は原則として関係者以外の入室を制限します。
(ただし、傍聴者については指定の場所への入室を許可します)
- 名札は必ずつけて下さい。
- 討議のルールを守り、積極的な討議をお願いします。
- ご不明な点、困った点等ご遠慮なくスタッフまでお申し付け下さい。

話し合いのルール

1 「さん」づけで呼びあいましょう

市民同士お互いを尊重して話し合いましょう。

2 いろいろな意見は みんなの財産

異なる意見も否定せずにはまずは聞きましょう。

3 みんなで考えよう、水戸市のあした！

むずかしく考えずに、みんなで話し合い、提案して下さい。

4 必ず結論を出しましょう

討議時間は限られています。議論を前に進めて、時間内に結論を出しましょう。

討 議 の 進 め 方

1 全員で情報提供を聞きます

専門家・実践者からの話し
多角的な意見
現状のデータ など

討議をスムーズにするため
の情報を提供します

討議ボード（模造紙）

2 小グループで討議します

書いて貼る

それぞれが
自分の思う意見を
どんどん付箋に
書いてはります

付箋をまとめ
ながら討議

話し合いを
しながら意見を
まとめていきます

少数意見でも残したい意見がありましたら
書いて下さい

テーブルA	山田 加藤 佐藤 川島 寺田
討議テーマ ○○○について	
<input type="text" value="○○○○"/>	
<input type="text" value="■■■■"/>	
まとめ1 ■ ■ ■ ■	封筒
まとめ2 ○ ○ ○ ○	封筒
まとめ3	封筒
残したい意見 △ △ △ △	

投票数がわからないよう、投票にはコインを使用、封筒の中にコインを入れて投票します

※ 残したい意見はあくまで参考意見で、投票はしません

3 各グループ発表・投票

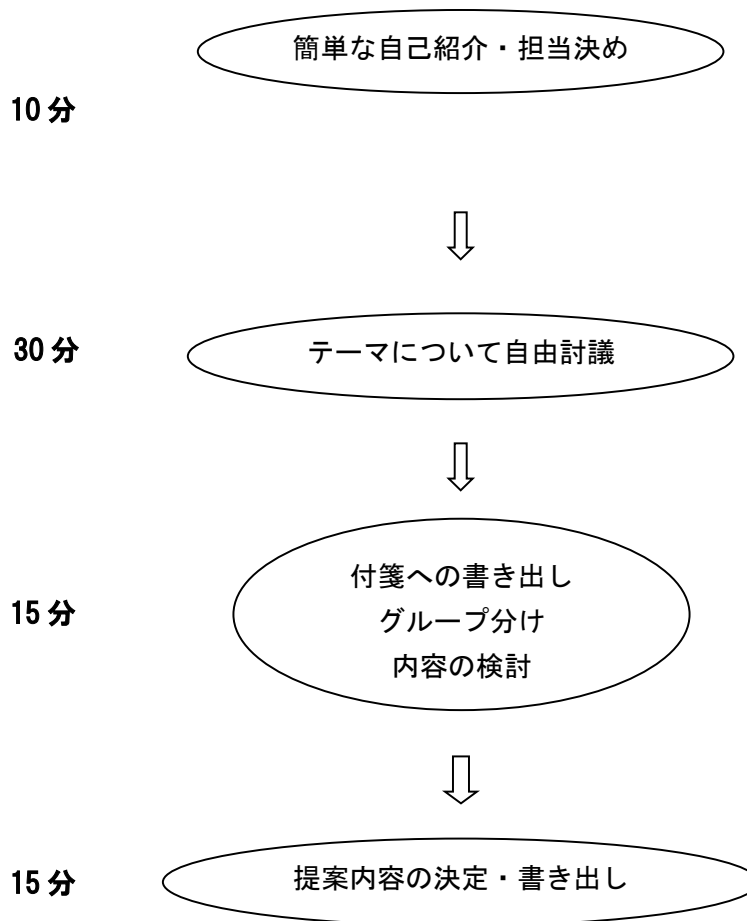
- ・各グループで順番に発表をします。
- ・その後、投票コインを使用し、同意する意見に投票をします。
その際、ご自分のグループ以外の意見に投票してもかまいません。
- ・投票コインを集計し、各グループがまとめた意見の得票数を掲示します。
- ・各グループの発表を聞いて、よいと思った意見に投票コインを入れて下さい。
- ・コインは1人5枚です。同じ「まとめ」欄に5枚全部入れてもかまいません。

4 グループチェンジ

- ・1テーマ毎にグループが変わりますので、休み時間終了後は

次のグループの席に移動してお待ちください。

話し合いの流れの目安



.....

1 グループ 3 分間

発表



投票

未来を描く・みと・市民討議会について

1 実施の目的

水戸市が策定する水戸市第7次総合計画及び水戸青年会議所の組織運営に、市民による幅広い意見交換を通じたこれからの水戸のよりよいまちづくりに資する提案を反映させていくとともに、市民のまちづくりへの参加意欲の醸成、啓発を図り、市民と行政との協働による新たな水戸のまちづくりを推進することを目的とする。

2 実施主体

水戸市と水戸青年会議所で組織する「未来を描く・みと・市民討議会実行委員会」

3 開催日時

1日目 令和4年12月3日（土）午前10時～午後4時30分

2日目 令和4年12月4日（日）午後1時～午後5時

4 会場

水戸市役所本庁舎4階 中会議室1～3

5 参加者

住民基本台帳から無作為に抽出した満16～39歳の約2,000名の市民の皆様に案内を発送し、参加申込みのあった24名。

	10代	20代	30代	計
男性	1名	5名	5名	11名
女性	6名	1名	6名	13名
計	7名	6名	11名	24名

6 討議テーマ

(1) 全体テーマ

「若い世代の活力で、持続的に発展するまちにしよう」

(2) 個別テーマ

テーマ1 「子育て支援の取組～子育てしやすいまちにするには～」

テーマ2 「魅力的な働く場の創出～若い世代に住み続けてもらうためには～」

7 討議方法

【1日目】

(1) 年齢や性別に配慮した上で、4～5名を1グループとし、2つの個別テーマについて、自由にアイデアを出し合い、意見交換を行う。

(2) グループごとに各テーマについての意見を集約し、発表を行う。

(3) 参加者全員により、各テーマで共感できる意見への投票を行う。

【2日目】

- (4) 1日目の投票において、投票数が多かった意見の実現に向け、課題・問題点について、討議を行う。

8 タイムスケジュール

【1日目】（予定）

9:30～	受付開始
10:00～10:10	開会式
10:10～10:30	事前説明
10:30～12:30	第1テーマ討議
12:30～13:40	昼食
13:40～15:40	第2テーマ討議
15:40～16:30	総括

【2日目】（予定）

12:30～	受付開始
13:00～13:10	事前説明
13:10～14:50	第1討議
14:50～15:10	休憩
15:10～16:50	第2討議
16:50～17:00	閉会式

9 報告書の作成及び市長への提出

実行委員会において、「未来を描く・みと・市民討議会」における意見及びその結果を取りまとめた報告書を作成する。

報告書は、水戸青年会議所から市長へ提出する。

10 結果の公開

「未来を描く・みと・市民討議会」の結果等について、水戸市及び水戸青年会議所のホームページで公開する。

水戸市と公益社団法人水戸青年会議所との「未来を描く・みと・市民討議会」の開催に関する協定書

水戸市（以下「市」という。）及び公益社団法人水戸青年会議所（以下「青年会議所」という。）は、次の条項により協定（以下「本協定」という。）する。

（目的）

第1条 本協定は、市が策定する水戸市第7次総合計画及び青年会議所の組織運営に、市民による幅広い意見交換を通じたこれからの水戸のよりよいまちづくりに資する提案を反映させていくため、市と青年会議所が互いに連携協力して、「未来を描く・みと・市民討議会」（以下「市民討議会」という。）を開催し、もって、市民のまちづくりへの参加意欲の醸成、啓発を図るとともに、市民と行政との協働による新たな水戸のまちづくりを推進することを目的とする。

（連携協力する事項）

第2条 市及び青年会議所は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について連携及び協力するものとする。

- (1) 市民討議会の運営に関すること。
- (2) 市民討議会の報告書の作成に関すること。
- (3) 市民討議会の結果等の公開に関すること。
- (4) まちづくりに資する提案の水戸市第7次総合計画及び青年会議所の組織運営への反映に向けた取組に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市及び青年会議所が必要と認める事項に関すること。

2 前項各号に掲げる事項に係る具体的内容、役割分担及び経費負担は、市及び青年会議所が協議の上、別に定めるものとする。

（守秘義務）

第3条 市及び青年会議所は、本協定に基づく取組の実施に際して知り得た情報を第三者に開示若しくは漏えいし、又は本協定の目的外に利用してはならない。この協定の有効期間終了後も、また、同様とする。

（有効期間）

第4条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から令和5年3月31日までとする。

（疑義の決定）

第5条 本協定に定めのない事項又は本協定の内容に関して疑義が生じたときは、市及び青年会議所が協議の上、定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、市及び青年会議所が記名・押印の上、各自1通を保有する。

令和4年10月 日

茨城県水戸市中央1丁目4番1号
水戸市
水戸市長 高橋 靖

茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
茨城県三の丸庁舎1階
公益社団法人水戸青年会議所
理事長 浅川 宗典

未来を描く・みと・市民討議会実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、未来を描く・みと・市民討議会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、未来を描く・みと・市民討議会（以下「市民討議会」という。）を円滑に実施することを目的とする。

(構成)

第3条 実行委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 公益社団法人水戸青年会議所正会員 8名
- (2) 水戸市職員 5名
- (3) 前各号に掲げる者のほか、実行委員会が特に必要と認めた者

(所掌事項)

第4条 実行委員会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 市民討議会の運営に関すること。
- (2) 市民討議会の報告書の作成に関すること。
- (3) 市民討議会の結果等の公開に関すること。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、令和5年3月31日までとする。

(役員)

第6条 実行委員会に、次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

(役員職務)

第7条 委員長は、実行委員会の会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 実行委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 実行委員会の会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

3 実行委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(守秘義務)

第9条 委員は、本規約に基づく取組の実施に際して知り得た情報を第三者に開示若しくは漏えいし、又は本規約の目的外に利用してはならない。委員の任期終了後も、また、同様とする。

(事務局)

第10条 実行委員会の事務局は、公益社団法人水戸青年会議所に置く。

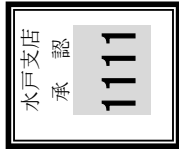
付 則

この規約は、令和4年10月17日から施行する。

表



料金受取人私郵便



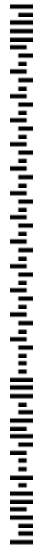
差出有効期間
令和4年11月
15日まで
(切手不要)

郵便はがき

310-8790

水戸市中央一丁目四番一号
水戸市役所市長公室
政策企画課内

未来を描く・みと・市民討議会
実行委員会担当 行



裏

私は、「未来を描く・みと・市民討議会」の目的及び趣旨を理解し、「未来を描く・みと・市民討議会」への参加を希望します。

令和4年 月 日

フリガナ
お名前

ご住所

電話番号

※日中連絡が取れるご連絡先をご記入ください。

◎ 託児サービスを希望されますか。

はい いいえ (対象：生後6か月以上の未就学児)
お子様の年齢・性別

(満 歳 性別) (満 歳 性別)

◎ ご参加いただける方は、上記の記入欄に記入し、別添の個人情報保護シールをお貼りの上、切手を貼らず、令和4年11月4日までにご投函ください。

◎ ご記入いただいた個人情報は、水戸市個人情報保護条例に基づき、本討議会以外の目的で使用することはありません。



郵便区内特別

未来を描く・みと・市民討議会
参加案内在中

未来を描く・みと・市民討議会
実行委員会

〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号
水戸市役所市長公室政策企画課内
TEL (029) 232-9104 (直通)

〒310-0011 水戸市三の丸1丁目5番38号
茨城県三の丸庁舎1F
水戸青年会議所事務局内
TEL (029) 221-6384